

平成26年度

福岡市美術館 活動の記録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2014

平成26年度

福岡市美術館 活動の記録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2014

凡例	3
美術館の主要事業	4
美術館日誌	4
福岡市美術館リニューアル事業	4
展示活動	5
特別企画展	5
公募展	9
常設展	10
常設企画展	13
展覧会関連記事	14
教育普及活動	17
こどもアートアドベンチャー	17
つきなみ講座	18
福岡ミュージアムウィーク2014	19
夏休みこども美術館2014	20
ファミリーDAY	21
いきヨウヨウ講座「音と色とかたち」	22
夢見る植物園	22
博物館実習	22
職場体験学習	23
読書室企画	23
ボランティア活動	24
出版物	29
連携・協力事業	31
福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画	31
協力事業	31
調査研究活動	32
紀要の発行	32
館外調査	32
収集活動	33
美術資料	33
図書・映像資料	36
美術資料の修復・貸出	37
修復	37
貸出	38
施設の利用状況	42
展示室	42
講堂等	48
入場者数一覧	49
名簿	50

本冊子は福岡市美術館の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH26は平成26年の略字である。

主要展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

「収集活動」の「美術資料」の購入は平成26年度に本市が公益財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は、高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料(8)および奥村資料(10)であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に正式に移管した。

1	郷土作家 ^(注1)		
2	日本作家		
3	海外作家		
4	黒田資料		
5	東光院仏教美術資料	A	油彩画等 ^(注2)
6	松永コレクション	B	日本画等 ^(注3)
7	太田コレクション	C	水彩等 ^(注4)
9	石村コレクション	D	素描
11	森山コレクション	E	版画
12	三宅コレクション	F	写真
13	山崎朝雲資料	G	彫刻等 ^(注5)
14	一般古美術資料	Ha~Hf	工芸 ^(注6)
15	研究資料	I	書跡
16	西本コレクション	J	文書
17	本多コレクション	K	その他
18	クスマコレクション	L	映像 ^(注7)
19	藤森静雄資料		
20	森田コレクション		
21	川村コレクション		
22	栗田コレクション		

作品番号

例) 1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

- 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
- A(油彩画等)の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から観賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
- B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。
- 映像作品(鈴木淳《だけなんなん001~049》)が新たに収蔵されたためH26年度より新たに分類L(映像)を設けた。

美術館日誌

平成26年

4月 19日(土)	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―(6月1日まで)
5月 17日(土)	第6回ミュージアムウィーク(5月25日まで)
7月 3日(木)	平成26年度美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
7月 25日(金)	平成26年度第1回美術館協議会
9月 2日(火)	大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具(9月28日まで)
10月 11日(火)	更紗の時代(11月24日まで)
11月 3日(月・祝)	開館記念日につき常設展観覧料無料

平成27年

1月 6日(火)	成田亨 美術／特撮／怪獣(2月11日まで)
2月 27日(金)	「第49回福岡市美術展」入賞・入選者発表
3月 4日(水)	美術資料収集審査会(近現代美術)
3月 10日(火)	「第49回福岡市美術展」開催(3月22日まで)
3月 10日(火)	美術資料収集審査会(古美術)
3月 15日(日)	「第49回福岡市美術展」表彰式
3月 17日(火)	平成26年度第2回美術館協議会

福岡市美術館リニューアル事業

リニューアルに向けた先行工事など

平成25年度に引き続き、福岡市美術館緊急改修工事(その2)を施工し、資料補修室、格納庫の倉庫化並びに空調設備機器等を新設した。

事業者選定委員会の設置

福岡市美術館リニューアル事業をPFI方式で実施するにあたり、事業者提案にかかる専門的かつ客観的な視点からの検討等を行うため、「福岡市美術館リニューアル事業者選定委員会」を設置した。

委員長	坂井 猛	九州大学新キャンパス計画推進室教授・副室長
副委員長	美原 融	大阪商業大学総合経営学部教授
委員	西村 勇晴	北九州市立美術館館長
委員	東原 克行	株式会社前川建築設計事務所プロジェクト・チーフアーキテクト
委員	落石 稔彦	福岡市経済観光文化局理事

実施方針の公表

福岡市美術館リニューアル事業における実施方針と要求水準書の案を公表し、事業者から意見を募集した。

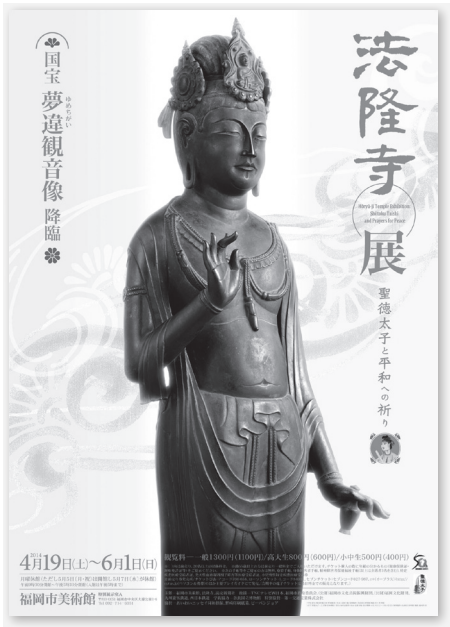
平成26年 12月 25日	実施方針、要求水準書(案)の公表
平成27年 1月 8日	実施方針等説明会の開催
1月 16日	実施方針等に関する質問・意見の受付締切
2月 5日	実施方針等に関する質問・意見の回答

特定事業の選定

福岡市美術館リニューアル事業については、PFI方式での実施が適当であると判断し、PFI法第7条に基づく特定事業として選定した。

特別企画展

法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－



ポスターB2



会場風景

期 平成26年4月19日(土)～6月1日(日)
場 福岡市美術館 特別展示室A
内 容 古代日本に登場した聖徳太子は「和」の精神を説いて新しい政治を推し進めるとともに、仏法による平和をもたらすべく、仏教の普及に力を注いだ。多くの功績を残し、日本の進むべき道を示した聖徳太子は今なお多くの人に愛され、敬われ続けている。本展では、国宝・重要文化財20点を含む法隆寺、聖徳太子ゆかりの宝物が一堂に会した。「銅造観音菩薩立像(通称:夢違観音)」(国宝)をはじめとする7～8世紀の仏像や、聖徳太子像、聖徳太子絵伝など太子信仰により制作された鎌倉時代を中心とする彫刻・絵画の代表作を展示し、仏教を通して聖徳太子が目指した平和がどのようなかたちで伝えられ、全国的な太子信仰へと広がっていったかをたどる内容であった。

出品点数 65点
主催 福岡市美術館、法隆寺、読売新聞社
学術協力 奈良国立博物館
後援 TNCテレビ西日本、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、公益財団法人福岡文化財団、ジェイコム九州、九州旅客鉄道、西日本鉄道

特別協賛 第一交通産業株式会社
協賛 あいおいニッセイ同和損保、野崎印刷紙業、ビーバンジョア

観覧料 一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円)
小中生500円(400円)
※()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※ 以下は観覧無料
・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

開催日数 38日間
観覧者数 24,228人
印刷物 【ポスター】B1、B2、B3
【チラシ】A4
【図録】A4・176頁

展覧会担当：後藤恒

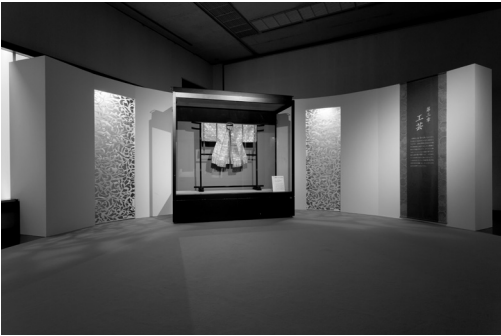
関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
4月19日(土)	記念講演会 「和の精神と日本文化」	14:00～15:30	講師：大野玄妙（法隆寺管長） 聴講者数：183人	講堂
5月18日(日)	記念講演会 「聖徳太子絵伝と太子説話」	14:00～15:30	講師：菊竹淳一（九州大学名誉教授） 聴講者数：210人	講堂

大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具



ポスターB2



会場風景

会 期 平成26年9月2日(火)～9月28日(日)
 会 場 福岡市美術館 特別展示室A
 内 容 江戸時代に筑前藩主であった黒田家から福岡市美術館に寄贈された多くの美術作品から「きらめきの大名道具」をテーマに100点を紹介した展覧会。展示作品は重要文化財を含む絵画、書跡、工芸の各分野から選んだ、黒田家の実力を示すきらびやかな名品を中心に構成し、当館所蔵の黒田資料を特別展として一挙に公開する初めての機会となった。また、同時期に福岡市博物館で開催された「2014年NHK大河ドラマ特別展 軍師官兵衛」展と共に、大河ドラマで注目が集まる黒田官兵衛ゆかりの地・福岡を盛り上げる展覧会となった。

出 品 点 数 100点
 主 催 福岡市美術館、西日本新聞社、NHK福岡放送局
 後 援 福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、ジェイコム九州
 観 覧 料 一般1,000円(800円)、高大生700円(500円)
 ※ ()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
 ※ 以下は観覧無料
 ・中学生以下
 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
 ・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害者等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

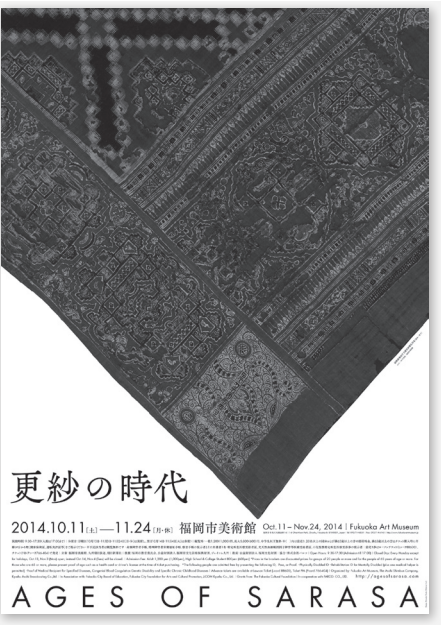
開 催 日 数 24日間
 観 覧 者 数 10,210人
 印 刷 物 【ポスター】B2、B3
 【チラシ】A4
 【図録】A4変形・128頁

展覧会担当：中山喜一郎、神保明香、鬼本佳代子

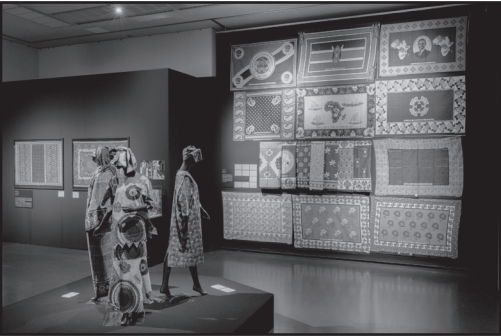
関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
5月17日(土)～5月25日(日)	「黒田家の旗」展示		展覧会に先駆け、福岡ミュージアムウィーク2014の期間中、初公開となる黒田官兵衛が定めた黒田家の旗を展示した。	1階ロビー
9月 6日(土)	ギャラリートーク 《入門編》	10:30～ (30分程度)	学芸員による入門編の作品解説。 担当：神保明香(当館学芸員) 参加者数：45人	特別展示室A
9月 7日(日)	記念講演会 「きらめきの大名道具」	14:00～15:30	展覧会担当学芸員による展覧会見どころについての講演。 講師：中山喜一郎(当館運営部長) 聴講者数：100人	講堂
9月13日(土)	ギャラリートーク 《上級編》	10:30～ (40分程度)	学芸員による上級編の作品解説。 担当：中山喜一郎 参加者数：35人	特別展示室A
9月17日(水)～9月28日(日)	大河ドラマ軍師官兵衛番組組展 「岡田准一／軍師官兵衛」写真展		展覧会にあわせて、大河ドラマ「軍師官兵衛」で主演を務める岡田准一さんを撮影した大型写真を展示する写真展を開催した。主催：NHKサービスセンター	特別展示室A前

更紗の時代



ポスター



会場風景

会 期 平成26年10月11日(土)～11月24日(月・祝)
会 場 福岡市美術館 特別展示室A
内 容 インド亜大陸を発祥の地とする更紗は、木綿という高機能であるが染色の難しい素材に、媒染剤を用いて鮮烈かつ堅牢な赤色の染色を可能にした技術により、古くはインド洋海域で、さらに大航海時代以降は世界中で求められたグローバルな貿易アイテムとして君臨してきた。日本でも、更紗は長く愛好され、日本の文化の一部とみなされるまでになっている。本展では、日本からの視点を軸に、世界中が更紗を求め、美意識を共有し、交流した約500年にわたる時代をたどることを試みた。完品としては最古の部類に入る約500年前のインド更紗に始まり、アフリカで現在着用されているプリント地まで、インド、インドネシア、日本、ヨーロッパ、アフリカで生み出された更紗と更紗関連資料222点を展示。現在も生産されているアフリカのプリント地が、更紗の歴史のなかに位置づけられることを示した。作品点数や質、時間、空間の広がり等を考慮すると、国内の更紗展としては過去最大級となり、「今後の更紗研究の見取り図としての位置付け」との評を得た。

出 品 点 数 222点
主 催 福岡市美術館、九州朝日放送、朝日新聞社
助 成 公益財団法人福岡文化財団
後 援 福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、ジェイコム九州
協 力 株式会社パレコ
観 覧 料 一般1,200円(1,000円) 高大生800円(600円)
※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※ 以下は観覧無料
・中学生以下
・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

開 催 日 数 39日間
観 覧 者 数 8,372人
印 刷 物 【図録】A4変形・304頁
【ポスター】B1、B2
【チラシ】B3

展覧会担当：岩永悦子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
8月24日(日)	プレワークショップ 《着てみよう!アフリカの布「カンガ」》	13:30～16:00	講師：織本知英子（カンガ研究家） 参加者：25人	教養講座室
10月11日(土)	講演会① 大航海時代の渡来更紗について	14:00～15:30	講師：梶谷宣子（メトロポリタン美術館名誉会員） 参加者：97人	講堂
10月19日(日)	講演会② 更紗の時代とはなにか	14:00～15:30	講師：岩永悦子（当館学芸係長） 参加者：48名	講堂
10月11日(土)～ 10月13日(月・祝) 11月15日(土) 11月16日(日)	遠州流茶道福岡支部 呈茶席	各日 10:30～14:30		特別展示室A 入り口付近
10月26日(日)	ワークショップ 《着てみよう!アフリカの布「カンガ」》	13:30～16:00	講師：織本知英子（カンガ研究家） 参加者：29名	教養講座室
11月 1日(土) 11月16日(日)	担当学芸員による ギャラリートーク	14:00～	担当：岩永悦子、正路佐知子（当館学芸員） 参加者：各回約40名	

成田亨 美術／特撮／怪獣



ポスターB2



会場風景

会 期 平成27年1月6日(火)～2月11日(水・祝) 32日間
会 場 福岡市美術館 特別展示室A
内 容 成田亨(1929-2002)は、青森県出身の芸術家で、武蔵野美術大学で美術を学んだが、特撮映画、テレビの分野でも活躍。特に「ウルトラQ」「ウルトラマン」「ウルトラセブン」で手がけた怪獣やヒーローのデザインは現在も多くのファンに親しまれている。青森県立美術館所蔵となっているこれらデザイン画187点に加え、特撮関連の仕事、未発表の怪獣デザイン画、古今東西のモンスターをテーマとした絵画・彫刻、そしてあまり知られていない後年の作品など総計700点により、この希有な芸術家の知られざる全貌に迫った。

出 品 点 数 700点(スケッチブック含)
主 催 福岡市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送
後 援 福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、ジェイコム九州
企 画 協 力 スペンアートギャラリー
観 覧 料 一般1,200円(1,000円)、高大生800円(500円)

※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※以下は観覧無料
・中学生以下
・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

開 催 日 数 32日間
観 覧 者 数 11,684人
印 刷 物 【ポスター】B1、B2、B3
【チラシ】A4・8種類
【図録】B5変型・399頁 羽鳥書店発行
*本展図録により、当館、富山県立近代美術館、青森県立美術館は2014年美連協優秀カタログ賞を受賞した。

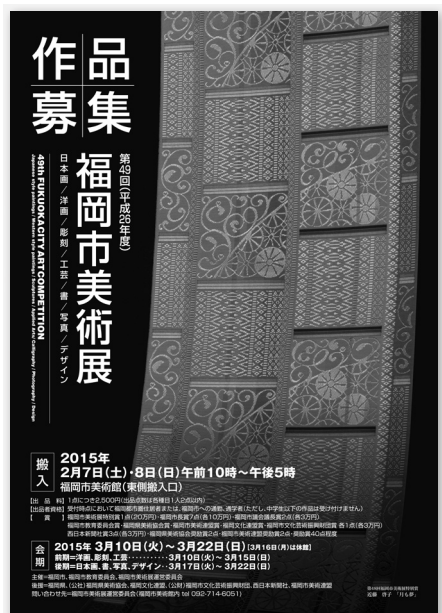
展覧会担当：山口洋三

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月 6日(火)	記念講演会①	14:00～	講師：成田流里(成田亨夫人)、成田カイリ(俳優・成田亨子息) 参加者：92名	講堂
1月17日(土)	記念講演会②	14:00～	講師：榎木野衣(美術批評家、多摩美術大学教授) 参加者：84名	講堂
1月31日(土)	記念講演会③ 芸術家の誕生までの不思議-成田亨の場合	14:00～	講師：村上隆(アーティスト) 参加者：200名	講堂
1月12日(月・祝)	「星人の日」 特撮ワークショップ	10:00～16:00	講師：黒岩俊哉(九州産業大学教授) 参加者：10名	教養講座室
1月10日(土) 2月 7日(土)	やまニアックな? ギャラリートーク	14:00～15:30	講師：山口洋三(当館主任学芸主事) 参加者：各回約70名	特別展示室A
1月24日(土)	アクロス文化学び塾 「ウルトラ怪獣はアートか?」 -芸術家・成田亨の生涯-	14:00～15:30	講師：山口洋三 受講料500円 参加者 70人	アクロス福岡 2階セミナー室

公募展

第49回 福岡市美術展



作品募集



ギャラリートークの様子

- 会 期** 平成27年3月10日(火)～3月22日(日)
前期(洋画、彫刻、工芸)3月10日～3月15日 6日間
後期(日本画、書、写真、デザイン)3月17日～3月22日 6日間
- 会 場** 特別展示室 A・B 市民ギャラリーA・B・C・D
- 内 容** 福岡市美術展運営委員会は、美術の各分野における市民の創作活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。今回は、7部門で950人(1192点)の応募があり、内629人(678点)が入選。このうち、特別賞など入賞は71点であった。

出品及び展示状況

区 分	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品(応募)人数	37	237	24	80	186	338	48	950
出品(応募)点数	39	299	25	99	189	490	51	1,192
展 示 点 数	入賞・入選	28	180	24	50	145	211	678
	招待・審査員	4	4	5	5	5	2	31
	計	32	184	29	55	151	216	709

- 入 賞 者** (1)福岡市美術展特別賞1名(写真)賞金20万円
(2)市長賞7名(各部門1名)賞金各10万円
(3)市議会議長賞2名(洋画・デザイン)、福岡市美術連盟賞1名(写真)、市教育委員会賞1名(書)、福岡文化連盟賞1名(日本画)、福岡市文化芸術振興財団賞1名(工芸)、西日本新聞社賞3名(洋画・写真・書)、福岡県美術協会賞1名(彫刻)賞金各3万円
(4)福岡県美術協会奨励賞2名(日本画・洋画)、福岡市美術連盟奨励賞2名(写真・デザイン)
(5)奨励賞49名(日本画部門2名・洋画部門13名・彫刻部門2名・工芸部門4名・書部門7名・写真部門20名・デザイン部門1名)

- 主 催** 福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
後 援 福岡県、公益社団法人福岡県美術協会、福岡文化連盟、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟

観 覧 料 一般400円、高校・大学生300円、中学生以下無料

開 催 日 数 12日間

入 場 者 数 5,070人

印 刷 物 【ポスター】B2(2種類)
【図録】A4変形
【開催要項】A3二つ折り

関連イベント

日	イベント名	内容	会場
3月15日(日) 3月22日(日)	ギャラリートークの実施	審査員によるギャラリートーク(解説、講評)を各会場にて開催。 参加者合計約550人 3月15日(日) : 洋画(150人)、彫刻(30人)、工芸(40人) 3月22日(日) : 日本画(30人)、書(50人)、写真(200人)、デザイン(50人)	

常設展

近現代美術室

■世界・日本・九州の美術 ―20世紀から21世紀へ

平成26年6月10日(火)～平成27年6月7日(日)

20世紀以降(日本は明治時代以降)に現れた、国内外および九州・山口地域の様々な美術動向を代表する作品50点を展示。右回りの展示「踊りだす色と形」、左回りの展示「イメージを読む」に会場を二分し、抽象芸術に至る造形的探求をたどる経路、図像の意味を味わう経路という2通りの鑑賞経路を提示した。会期中に作品貸出等による移動あり。(吉田)

[冒頭.踊りだす色と形／イメージを読む]
ジョアン・ミロ

[右1.踊りだす色と形① 踊る・寝そべる・ポーズする裸婦のいろいろ]
ラファエル・コラン、黒田清輝、青木繁、坂田一男、児島善三郎、里見勝蔵、レオナルド・フジタ、三岸好太郎、野口弥太郎、松本峻介、井上三綱、伊東静庵、上田宇三郎

[右2.踊りだす色と形② 抽象絵画の完成]
ジャン・デュビュッフェ、ニコラ・ド・スタール、ピエール・アレシンスキー、イヴ・クライン、ヘズース・ラファエル・ソト、ザオ・ウーキー、エルスワース・ケリー、ヴィクトール・ヴァザレリ、コンスタンティン・ブランクーシ、斎藤義重、豊福知徳

[左1.イメージを読む① 近代日本におけるイメージ]
吉田博、坂本繁二郎、庄野伊甫、南風原朝光、和田三造、井上寛信、小牧源太郎

[左2.イメージを読む② 「象徴(シンボル)」としてのイメージ]
ラファエル・コラン、ポール・デルヴォー、サルヴァドール・ダリ、ジャン・テイングリー、A.R.ペンク、アンソニー・グリーン、ジャン＝ミシェル・バスキア、ジム・ダイノ、藤田吉香、藤野一友、菊畑茂久馬、柳幸典

[左3.イメージを読む③ 反復されるイメージ]
アンディ・ウォーホル、リサ・ミルロイ、三木富雄、向井修二、藤山貴司

[最奥.踊りだす色と形／イメージを読む]
マルク・シャガール

企画展示室

■桜井孝身／オチ・オサム／石橋泰幸 ―九州派黎明期を支えた3人の画家

平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

1957(昭32)年に結成された前衛美術グループ「九州派」の原動力は、その前年の街頭詩画展「ベルソナ展」にあった。ここに参加した4人の画家のうち、桜井孝身(1928年生)、オチ・オサム(1936-2015)、石橋泰幸(1930-2001)の作品21点を展示した。(山口)

■新収蔵品展―福岡の美術(1970年以降)を中心に―

平成26年6月10日(火)～8月3日(日)

2013年度に当館が新たに収蔵した近現代美術作品のお披露目展。2013年に開催した「福岡現代美術クロニクル1970-2000」を契機に収蔵した作品の他、浦志武火子、寺田健一郎、貝島福通、原健の作品や深野治資料を展示した。(正路)

大浦こころ《のびひろがついていく身体14》2002年

■画/布 平成26年10月28日(火)～平成27年1月12日(月・祝)

木枠に布を貼り込んだ「画布(キャンバス)」を解体し、「絵画」の新たな在りようを模索した1960年代の美術運動「Support/Surface」に属したクロード・ヴィアラ、ルイ・カーヌの作品をはじめ、「画」と「布」の関係性を独自に問い直したモーリス・ルイス、山田依子、菊畑茂久馬、堀尾貞治、ジグマール・ポルケの作品7点を展示した。(吉田)

■キロクとキオク 平成27年1月14日(水)～4月12日(日)

美術作品を構成するさまざまな要素を、時、場、作者の記憶が抱え込まれた記録物と捉え、九州派によるアスファルトを用いた作品、岡部昌生のプロッタージュ、田部光子のコラージュ、風倉匠のパフォーマンス映像・資料と関連作、鈴木淳の私的な写真を元にした作品、和田千秋の「障碍の美術」で展示構成。観賞者それぞれの記憶をもよおす空間となった。(正路)

鈴木淳《IE4・家族の森》
1998/2012年

小作品室

■告発する美術1 池田龍雄

平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

特攻隊員として戦中を過ごし、戦後日本を冷静に捉え美術を通して告発してきた池田龍雄(佐賀県出身、1928年生まれ)。社会的事件等取材し、記録するルポルタージュの手法を用いたものからシュルレアリスムの手法を用いたもので、当館所蔵の池田のペン画を展示し、そのまなざしに迫った。(正路)

池田龍雄《寓話―マン・レイ風に―(網元シリーズ)》1954年

■新収蔵品展―福岡の美術(1970年以降)を中心に―

平成26年6月10日(火)～8月3日(日)

※企画展の欄を参照。

■告発する美術2 ジョージ・グロスとオットー・ディックス

平成26年8月5日(火)～10月26日(日)

両大戦間期に活躍したドイツの画家ジョージ・グロス(1893-1959)とオットー・ディックス(1891-1969)。それぞれの方法で社会や政治の膿を絞り出す2人の表現を、版画集『神は我らとともに』『エック・ホモ(この人を見よ)』(グロス)、『死と復活』(ディックス)によって紹介した。(正路)

■版画って何？

平成26年10月28日(火)～平成27年1月12日(月・祝)

印刷技術の進歩に伴い、近現代美術における版画技法は銅版やリトグラフ、シルクスクリーン、木版等、次々に細分化・多様化している。本展覧会では22点展示し、細かい凹凸やインクの重なりによる版画特有の魅力を、制作工程や空摺り体験も含めて紹介した。(渡抜)



吉田穂高《サンミゲル日一番通り》
1987年

■OYAZI展

平成27年1月14日(水)～4月12日(日)

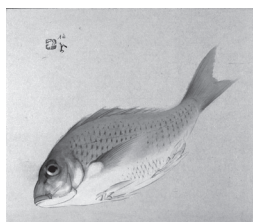
近年、書籍やキャラクターのテーマに使われる「オヤジ」。そんな注目すべき「オヤジ」をテーマに、異なる作家の油彩画・水彩画・版画など16点を展示。展示室内では、お気に入りの「オヤジ」に投票できるようにした。(土橋)

日本画工芸室

■うまい絵 —おしながき—

平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

誰にとっても身近な「食」。「食」を連想させる作品は私達の目を通して五感へ訴えかける。今回は「食」の形態や色調に注目し、当館で所蔵する作品の中から「食」に関連する作品を23点紹介した。(渡抜)



竹内栖鳳《銀鱗》制作年不詳

■水上泰生展 —花鳥のいろいろ—

平成26年6月10日(火)～8月3日(日)

福岡市生まれの水上泰生(1882-1951)は、真摯な自然観察に基づいた端正な花鳥画を得意とする作家であり、1913年の文展に初入選以降、官展の作家として活躍した。今回は当館所蔵の作品から9点展示した。(渡抜)

■トリックスターを捕まえる！

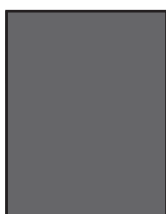
平成26年8月5日(火)～10月26日(日)

いたずらによって世界を混乱させる「トリックスター」の姿を、古美術・近現代美術作品/資料の中に探る試みとした。鬼や道化などが登場する古美術作品3点と写真を含む近現代美術17点、同時期に企画展示室で開催した「鈴木貴博 生きろ美術館展」で滞在制作した鈴木貴博による過去のパフォーマンス記録写真4点を展示した。(吉田)

■夢見る植物園

平成26年10月28日(火)～平成27年1月12日(月・祝)

植物は、小道具として、主題そのものとして、あるいはデザイン図案として、しばしば美術作品の中に登場する。本展では、福岡市植物園の協力のもと、植物を表した作品を、自然史的視点と美術的視点双方から紹介し、作品のさまざまな魅力を引き出した。関連企画も実施。(鬼本)



吉田ふみ《花(リズム)》1951年

■1936年—博多築港記念大博覧会の頃

平成27年1月14日(水)～4月12日(日)

1936年に博多港沿岸の埋め立て地である洲崎原で開催された博多築港記念大博覧会に注目し、本展出品作であることが判明した新収蔵作品の浦志武火子《後庭清妍》を中心に、同展出品作家による同時代の作品12点を展示した他、市博物館よりポスター、絵葉書、記念品、県立図書館より絵葉書等の資料を借用して展示した。(吉田)



浦志武火子《後庭清妍》
1936年以前

古美術企画展示室

■岩佐又兵衛36×2 ふた組の「三十六歌仙絵」一挙公開

平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

江戸時代のはじめ、浮世絵の祖・浮世又兵衛と呼ばれた伝説的な天才画家岩佐又兵衛。本展では、中古三十六歌仙を描いた晩年の異色作「若宮三十六歌仙絵」(若宮市・若宮八幡宮寄託)と、最初期の傑作「三十六歌仙絵」(館蔵)を同時に公開した。(中山)



三十六歌仙絵 第12図「小野小町」
岩佐又兵衛 江戸時代

■新収蔵品展 ガンダーラ彫刻、インダス土器、仙厓など

平成26年6月10日(火)～10月5日(日)

平成25年度に新たに収蔵された古美術資料を公開。諸家の寄贈によるインダス文明期及びそれ以前の土器類、ガンダーラ彫刻、インド更紗、仙厓画などをはじめ、新規購入によるアンコール時代の菩薩頭部や明時代の絵画など(会期中展示替えあり)。(後藤)



石造仏五尊像 ガンダーラ3-4世紀

■田中丸コレクション 九州古陶の美「食の器」

平成26年6月10日(火)～11月30日(日)

卓越した九州古陶磁の蒐集で知られる田中丸コレクションから、茶道具の向付として使用された碗や鉢などの「食器」にスポットを当て、28点を展示紹介した(会期中展示替えあり)。(後藤／一般財団法人田中丸コレクション学芸員 久保山氏)



絵唐津椿文輪花向付 桃山時代

■館蔵 東南アジア美術展

平成26年10月7日(火)～11月30日(日)

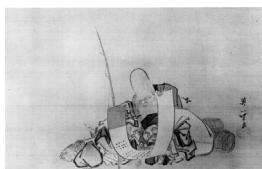
福岡市美術館の東南アジアの古美術コレクションは、大陸部(インドシナ半島)の陶磁または宗教彫刻とインドネシアの染織を中心に充実した作品群で構成されている。それらの中から特に希少で質の高い作品37点を精選して展示した。(後藤)

白褐釉刻花龍鳳凰文水注 タイ 15世紀



■福の神 大集合! 平成26年12月2日(火)～平成27年2月1日(日)

大黒天、恵比寿、布袋といった七福神に数えられる尊格をはじめ、琴高仙人、猿田彦大神、鍾馗など、絵画や工芸に描かれ、象られた様々な神の姿を紹介。展示総数35点。(後藤)



三福神図 英一蝶 江戸時代

■冬のおとなミュージアム「LOVE／愛」

いにしへの恋バナ

平成27年2月3日(火)～4月12日(日)

福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と同時期同テーマでの初の共同企画展。今回のテーマは「LOVE／愛」。和歌や「源氏物語」、「伊勢物語」などを題材にした、恋愛にまつわる絵画や書、工芸を中心に18点を展示。(岩永)



伊勢物語図色紙 第六十七段 花の林 伝・俵屋宗達 江戸時代

松永記念館室

■法隆寺と古刹の美術

平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

松永耳庵が蒐集したコレクションには、法隆寺伝来の繡仏裂、百万塔陀羅尼、王子形水瓶をはじめ、奈良・京都の古刹から伝来したことが明らかな仏画や仏具などが含まれる。「法隆寺展-聖徳太子と平和への祈り-」にあわせて、それら約15点を紹介。(後藤)

銅王子形水瓶(法隆寺伝来) 奈良時代



■耳庵と茶道具展 戦前の収集品を探る

平成26年6月10日(火)～8月3日(日)

松永安左工門は、終戦後もなく所蔵していた茶道具の多くを国に寄贈したが、手放さずに愛蔵した作品もあった。戦前の所蔵品についての記録をもとに、松永と生涯をともにした遺愛の品を中心に17点を展示。(岩永)



備前矢筈口水瓶 共蓋付 桃山時代

■陶磁・工芸の名品

平成26年8月5日(火)～10月5日(日)

松永安左工門(号・耳庵)が蒐集したコレクションから、日本、朝鮮半島、中国の陶磁器、仏具を中心とする金工品、中世期の高度な技術水準をみせる漆工品の名品計17点を厳選して展示。(後藤)

■雪月花の美

平成26年10月7日(火)～11月30日(日)

白居易の詩の「雪月花時最憶君(雪月花の時最も君をおもう)」の一節は、日本人の美意識に大きな影響を与えてきた。伝・俵屋宗達筆「月に竹」など、雪、月、花を題材にした絵画、書、工芸12点を展示。(岩永)



月に竹 蔦図屏風 伝・俵屋宗達 江戸時代

■茶の湯交遊録III 仰木魯堂・政斎と松永安左工門

平成26年12月2日(火)～平成27年2月1日(日)

数寄屋建築家である仰木魯堂と、工芸家である政斎兄弟は、福岡県遠賀郡出身で、ともに松永安左工門にとって親しい茶友であった。松永コレクションのなかから、魯堂、政斎ゆかりの作品を中心に18点を展示。(岩永)

■伝・源実朝筆 日課観音図をめぐる

平成27年2月3日(火)～4月12日(日)

当館には、源実朝が描いたとされる日課観音図(松永コレクション)が収蔵されている。この日課観音図は、江戸琳派を代表する絵師、酒井抱一が所蔵していた。本図を中心に、当館の琳派作品など9点を展示。(岩永)

東光院仏教美術室

旧福岡藩主黒田家の菩提寺のひとつであった薬王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された重要文化財を含む仏像を常時展示。

■NHK大河ドラマ軍師官兵衛記念 官兵衛ゆかりの黒田資料

平成26年4月1日(火)～12月27日(土)

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映を記念して、官兵衛ゆかりの黒田資料を展示。「お姫様の髪飾り」(4月1日～5月25日)、「黒田家伝来の書跡」(5月27日～7月13日)、「蒔絵と香道具」(7月15日～8月31日)、「柔らかな狩野派」(9月2日～11月3日)、「黒田家の文芸」(11月5日～12月27日)と、テーマを変えて展示を行った。(中山・神保)

■涅槃図公開

平成27年1月6日(火)～4月12日(日)

仏陀釈尊が入滅した3月15日(陰暦2月15日)には、多くの寺院で仏涅槃図を掲げ、釈尊の遺徳を奉讃する「涅槃会」が開かれる。その時節にあわせて、当館に収蔵される仏涅槃図をはじめとする東光院の仏画を3点、コーナー展示にて紹介。(後藤)

観覧料：一般200円(150円) 高大生150円(100円) 小中生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※以下提示者は無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(以上は介護者1名を含む)、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受給者証、福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住で、住所と65歳以上を確認できる証明書

観覧者数：49ページを参照

常設企画展

鈴木貴博 生きる美術館展



A2ポスター



会場の様子

会 期 平成26年8月6日(水)～10月26日(日)
会 場 企画展示室、2階ロビー、中庭
内 容 鈴木貴博(1967年生)は、1990年代から世界各国を
渡り歩き様々な場所で「生きる」の文字を書くパフォー
マンスを続けている。「生きる」と書かれた紙やノートは、
まさに彼の「生」の痕跡だが、鈴木は多くの行き交う場
所でパフォーマンスを行う。ただ文字を書くだけの行為
を多くの人が目撃し、そこに作家との出会い、語らいが
生まれ、時に観客もそこに参加する。一方で、元々画家
であった鈴木は、最近再び「絵画」を制作している。そ
の内容は、西洋絵画のパロディから、動物や植物を描
いたもので多岐にわたる。乱雑に書き連ねられる「生き
ろ」と、熟練の技法で描かれる「絵画」は、鈴木貴博と
いう美術家の両極を示している。この両極を同時に紹
介する方法として、本展では、鈴木貴博本人による1ヶ
月間の滞在・公開制作を会場内で行い、鈴木貴博とい
う美術家の姿をライブに伝えた。

出 品 点 数 油彩42点、写真42点、他関連資料
主 催 福岡市美術館
協 力 福岡市立元岡中学校美術部、福岡市立東住吉小学校、
福岡県立玄洋高等学校
観 覧 料 常設展示観覧料
開 催 日 数 71日間
観 覧 者 数 15,432人
印 刷 物 A2ポスター兼チラシ(両面)、パンフレット(A5・32頁)

展覧会担当：山口洋三

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
6月16日(月)、 17日(火)	プレワークショップ (生きるTシャツを作る)	6/16 16:30～ 6/17 14:00～	講師：鈴木貴博	6/16 元岡中学校、玄洋高等学校 6/17 東住吉小学校
8月6日(水) ～9月7日(日)	作家の滞在制作		鈴木貴博	企画展示室
8月9日(土)	ワークショップ 「生きるTシャツを作ろう」	13:30～15:30	講師：鈴木貴博 参加者：26名	教養講座室
8月10日(日)	ワークショップ 「自己発見アート」	13:30～15:30	講師：鈴木貴博 参加者：21名	教養講座室
8月22日(金)、 29日(金)、30日(土)	映像作品 「砂漠の水」上映会	8/22、29 18:00～19:30 8/30 15:30～17:00	講師：鈴木貴博 参加者：3日間合計20名	講堂
8月30日(土)	アーティストトーク	13:30～15:30	講師：鈴木貴博 参加者：28名	教養講座室

展覧会関連記事

特別企画展

法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り		
読売新聞(朝刊)	H26.3.7	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―／4月19日(土)～6月1日(日)
読売新聞(朝刊)	H26.3.31	どれどれと〜れ／聖徳太子 目指した平和／「法隆寺展」観音菩薩立像など66点／4月19日から福岡市美術館
読売新聞かわら版	H26.4.12	法隆寺展 香りたつ白鳳文化／聖徳太子と平和への祈り／福岡市美術館で19日開幕
西日本新聞(夕刊)	H26.4.17	情報 Information／講演会／法隆寺展記念講演会
読売新聞(朝刊)	H26.4.19	法隆寺展 開会式／福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H26.4.19	法隆寺展開会式／和の心 再認識の機会
読売新聞(朝刊)	H26.4.20	「和の精神」で平和な未来／大野管長が記念講演 法隆寺展
西日本新聞(朝刊)	H26.4.25	文化／聖徳太子ゆかりの品々／法隆寺展 福岡市美術館／(野村大輔)
読売新聞(朝刊)	H26.4.26	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―／福岡市美術館で開催中／7世紀の仏像一堂に 太子ゆかりの寺院／世界最古の木造建築物 開会式で僧侶が法要
読売新聞(朝刊)	H26.4.28	どれどれと〜れ／「太子信仰」広がり学ぶ／法隆寺展 6月1日まで
読売新聞(朝刊)	H26.5.6	「法隆寺展」1万人突破
読売新聞(朝刊)	H26.5.10	太子信仰 技法巧みに／法隆寺展(福岡市美術館)に寄せて／生涯の名場面表現／後藤 恒
読売新聞(朝刊)	H26.5.10	法隆寺展から①／国宝「観音菩薩立像(夢違観音)」法隆寺蔵／宗教的威厳と写実性 共存／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
朝日新聞(朝刊)	H26.5.13	太子信仰と超人伝説に迫る／福岡市美術館で法隆寺展／(編集委員・中村俊介)
読売新聞(朝刊)	H26.5.15	法隆寺展から②／「聖徳太子二王子女像」幽竹法眼筆 法隆寺蔵／復興造営へ御物模写／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H26.5.17	法隆寺展から③／重要文化財「聖徳太子童形坐像(伝七歳像)」円伏作 法隆寺蔵／太子 信仰の対象に／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
毎日新聞(朝刊)	H26.5.18	京・奈良の名品 一堂に／「法隆寺展」福岡市美術館／国宝・夢違観音など公開 「足利義満像」や等伯、若冲／「相国寺と金閣・銀閣展」八代・未来の森ミュージアム
読売新聞(朝刊)	H26.5.18	法隆寺展から④／重要文化財「聖徳太子絵伝」鶴林寺蔵／太子の事績を絵に／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H26.5.19	聖徳太子をテーマに九大名誉教授講演
西日本新聞(夕刊)	H26.5.19	情報 Information／美術館／福岡市美術館／法隆寺―聖徳太子と平和への祈り
読売新聞(朝刊)	H26.5.20	法隆寺展から⑤／重要文化財「聖徳太子勝鬘經講讃図」斑鳩寺蔵／大画面に巧みな技法／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H26.5.30	法隆寺展1日まで／福岡市美術館
wa vol.61 spring 2014 p.14(福岡市文化芸術振興財団発行)		Museums & theaters 展覧会情報 4-6月／福岡市美術館／法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り

黒田家の美術 きらめきの大名道具		
西日本新聞(夕刊)	H26.8.18	情報 Information／美術館／福岡市美術館／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具
西日本新聞(朝刊)	H26.8.26	特別展「黒田家の美術―きらめきの大名道具」
西日本新聞(朝刊)	H26.9.2	本社の事業／大名道具など100点／きょうから「黒田家の美術」展 福岡市
西日本新聞(夕刊)	H26.9.2	黒田52万石の美 輝く
西日本新聞(朝刊)	H26.9.3	ふくおか都市圏／52万石の宝 きらめく／特別展「黒田家の美術」開幕／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H26.9.3	文化／黒田官兵衛テーマに企画展／福岡市博と九歴で開催中／奥深い人間性、豊富な経験／多彩な切り口で魅力に迫る／(野村大輔)
大分合同新聞(夕刊)	H26.9.5	耳より 福岡 関西 情報／黒田家の逸品 100点並ぶ 福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H26.9.11	本社の事業／特別展「黒田家の美術」28日まで福岡市美術館／大名道具など100点
西日本新聞(朝刊)	H26.9.12	創る 拓く 官兵衛のまち 第6部／52万石の輝き 特別展「黒田家の美術」から1／西洋風の絵がある意味は？／キリスト教との関係示す／(解説は福岡市美術館の中山喜一郎運営部長)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.13	創る 拓く 官兵衛のまち 第6部／52万石の輝き 特別展「黒田家の美術」から2／「日本の半分」の価値がある物って？／秀吉も所望 秘蔵の茶器／(解説は中山喜一郎氏)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.17	創る 拓く 官兵衛のまち 第6部／52万石の輝き 特別展「黒田家の美術」から3／平和な世の武士の生き方は？／“オタク”道究めた殿様も／(解説は福岡市美術館の錦織亮介館長)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.18	創る 拓く 官兵衛のまち 第6部／52万石の輝き 特別展「黒田家の美術」から4／姫の衣装 なぜ豪華？／よろい代わりにおしゃれ／(解説は中山喜一郎氏)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.18	超短波
西日本新聞(朝刊)	H26.9.19	創る 拓く 官兵衛のまち 第6部／52万石の輝き 特別展「黒田家の美術」から5／なぜこれほどの美術品が？／大大名として格式示す／(解説は中山喜一郎氏)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.20	デスク日記／(萩原昭男)
朝日新聞(朝刊)	H26.9.23	view／築城・文化・芸術…ひと味違う視点／官兵衛テーマの2企画展／(編集委員・中村俊介)
西日本新聞(朝刊)	H26.9.29	「黒田家の美術」閉幕／福岡市美術館
月刊水墨画 2014年9月号 p.84 (ユーキャン発行)		今月の展覧会／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具／福岡市美術館
avanti 2014年9月号 p.54 (アヴァンティ発行)		アヴァンティカルチャー／イベント&アート／NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」記念「黒田家の美術 きらめきの大名道具」
リビング福岡 2014年8月23日号 p.5 (西日本リビング新聞社発行)		Pick up まいたうん／耳より TOPIC 情報pick up／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具
ふくおか 福たび 秋号 p.14(福岡市発行)		福岡2014―あなたアートつながる―/大濠エリア／福岡市美術館／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具
月刊はかた 2014年9月号 Vol.310 p.32 (エー・アール・ティ発行)		ギャラリー情報／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具
日経interesse 2014年9月号 No.221 p.8 (日本経済新聞社発行)		Recommendation Report／EVENT イベントインフォメーション／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具／福岡市美術館
えいじんぐ vol.5 2014 秋 p.12 (西日本新聞社発行)		スケールの大きい展覧会で日本、中国、アジアの文化に触れる／福岡市美術館／大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具

更紗の時代		
朝日新聞(朝刊)	H26.9.19	朝日新聞社のお知らせ／「更紗の時代」展 10月に福岡市美術館で
朝日新聞(朝刊)	H26.9.20	朝日新聞社のお知らせ／「更紗の時代」展 10月から福岡市美術館で
西日本新聞(夕刊)	H26.10.6	情報 Information／美術館／福岡市美術館／更紗の時代
朝日新聞(朝刊)	H26.10.7	500年かけ磨かれた美／「更紗の時代」展 世界に広がり多彩な発展／学芸員 岩永悦子さん／11日から福岡市美術館で／講演会や茶席も
西日本新聞(夕刊)	H26.10.9	講演会／大航海時代の渡来更紗について
朝日新聞(朝刊)	H26.10.12	堪能 更紗の文様／福岡市美術館／(山下知子)
大分合同新聞(夕刊)	H26.10.17	500年の歴史「更紗」の美／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H26.11.20	文化／展覧会 更紗の時代／海を越え、時を超え、驚きの展開／(南陽子)
Fashion Talks... SPRING 2015 VOL.1 pp.44-45(京都服飾文化研究財団発行)		展覧会レビュー／「更紗の時代」展／(石関亮)
ふくおか 福たび 秋号(福岡市発行)		福岡2014ーあなた・アート・つながるー／大濠エリア／福岡市美術館／更紗の時代
Subクリップ 2014年9月26日(西日本リビング新聞社発行)		地下鉄トピックス／地下鉄でおトクに行こう!／福岡市美術館／特別企画展「更紗の時代」開催
HALI Issue 181 Autumn2014 pp.58-63 (HALI Publications Ltd発行)		How the exotic became familiar／This survival of tradition created the chintz and indienne of the 18th century that so delighted the Western world／The details reveal the genius of Indian craftsmen, yielding flowers found not on this earth
wa vol.63 p.12(福岡市文化芸術振興財団発行)		おしゃべりな学芸員 福岡市美術館 岩永悦子／インド更紗に導かれて…
シティリビング No.1202(西日本リビング新聞社発行)		おでかけ 沿線イベントカレンダー／11/24(振休)まで 福岡市美術館／特別企画展「更紗の時代」
月刊茶道誌 淡交 平成26年11月号 p.116(淡交社発行)		美術館案内／九州／福岡市美術館／更紗の時代
月刊はかた 2014年11月号 Vol.312(エー・アール・ティ発行)		ギャラリー情報／更紗の時代
ばど No.0111 2014年11月号 p.29(九州ばど発行)		アート／『更紗の時代』
L'ala Pado 2014年11月号 p.9(九州ばど発行)		TOPICS／「更紗の時代」展、福岡市美術館にて開催
芸術新潮 781号 p.123(新潮社発行)		PICK UP／展覧会の壺 no.9／「世界」が見える更紗の世界／板倉聖哲 文

成田 亨 美術／特撮／怪獣		
西日本新聞(朝刊)	H26.7.12	文化／「漫画やアニメ」と「美術」…分け隔てているものは／作品見る眼「制度」が曇らせる／福岡市美術館学芸員 山口洋三
西日本新聞(朝刊)	H26.8.31	「成田亨作品集」
西日本新聞(朝刊)	H26.11.28	超短波
西日本新聞(朝刊)	H26.12.5	都市圏ワイド／成田 亨 美術／特撮／怪獣
産経新聞(朝刊)	H26.12.14	特撮ファン待望、成田亨回顧展
西日本新聞(夕刊)	H26.12.15	情報 information／美術館／福岡市美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣
読売新聞(朝刊)	H26.12.18	成田亨 美術／特撮／怪獣
西日本新聞(夕刊)	H26.12.25	情報 information／講演会／成田流里氏(成田亨夫人)・成田カイリ氏(俳優)講演会
ジャパントゥタイムズ	H26.12.26	「Tohl Narita: Art/Special Effects/Monsters」／FUKUOKA ART MUSEUM
大分合同新聞(朝刊)	H26.12.26	耳より 福岡 関西 情報／“ウルトラ”級の魅力生み出す／来月から 福岡市美術館／成田亨の回顧展
西日本新聞(朝刊)	H26.12.27	もっと九州／カルチャー／“ウルトラの父”704の足跡／特撮ヒーロー描いた美術家、故成田亨さん／来月6日から、福岡市美術館で回顧展／原画、絵画、彫刻…「美しい姿」追い求め／幻の「ネクスト」立体化／福岡・那珂川町の角さん
西日本新聞(朝刊)	H26.12.30	本社の事業／「成田亨 美術／特撮／怪獣」展／来月6日から福岡市美術館で／原画通じて創作の源泉探る
西日本新聞(夕刊)	H27.1.5	情報 information／美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣
西日本新聞(朝刊)	H27.1.5	文化／いまを、呼吸／鬼はどこに在るのか?／強さ、反骨、怒り…忘れてしまった何かが宿る／CMに、スマホに／大江山を訪ねて
西日本新聞(朝刊)	H27.1.7	NEWS／成田亨展始まる
西日本新聞(朝刊)	H27.1.7	文化／半世紀にわたり生き続ける怪獣／彫刻家の矜持が創造性生んだ／「成田亨」展 福岡市美術館／美術と「サブカル」とはわれず評価を／「成田亨」展を企画 福岡市美術館学芸員 山口洋三さんの狙い／(南陽子)
読売新聞(朝刊)	H27.1.8	村上隆講演会
日本経済新聞(夕刊)	H27.1.9	講演「ウルトラ怪獣はアートか?～芸術家 成田亨の生涯」
西日本新聞(夕刊)	H27.1.10	彩事館 西日本新聞社の事業／ウルトラの故郷／回顧展「成田亨 美術／特撮／怪獣」／来月11日まで福岡市美術館
毎日新聞(朝刊)	H27.1.18	アクセス／成田亨 美術／特撮／怪獣
聖教新聞	H27.1.24	「成田亨 美術／特撮／怪獣」展／来月11日まで 福岡
朝日新聞(朝刊)	H27.1.27	カルチャーWEST／「評」美術 成田亨 美術／特撮／怪獣／造形に精神的な高み追求／(田中修二・大分大学准教授)
西日本新聞(朝刊)	H27.2.4	春秋
西日本新聞(朝刊)	H27.2.6	芸術家とは「不幸との並走」から生まれる／村上隆さんが語る成田亨／(塚崎謙太郎)
朝日新聞(朝刊)	H27.2.11	サブカル展 地方で光る／美少女展巡回／学芸員が企画／自力で何でも／(山崎聡)
毎日新聞(朝刊)	H27.2.15	「最も影響を受けた」／「成田亨展」村上隆さん講演／「日本社会の陰」色濃く／福岡市美【関東晋慈】
朝日新聞(朝刊)	H27.2.15	視線／成田亨作品集／原田マハ(作家)
avanti 2015年1月号 p.46(アヴァンティ発行)		アヴァンティカルチャー／イベント&アート／あの怪獣たちの生みの親「成田亨 美術／特撮／怪獣」
シティ情報ふくおか No.757 p.76(シティ情報ふくおか発行)		That's Entertainment 今月のエンタテイメント／Art／成田亨 美術／特撮／怪獣／特撮の世界に情熱を注いだアーティスト
Messa-juu No.213 2015年1月号 p.121(サンマーク発行)		EVENT January.2015／成田亨 美術／特撮／怪獣
FUKUOKA NOW #193 2015年1月号 p.10(フクオカ・ナウ発行)		EVENTS／Tohl Narita - Exhibition／成田亨 美術／特撮／怪獣
ギャラリー 2015 vol.1 357号 p.42(ギャラリーステーション発行)		今月の展覧会50+／07 成田亨 美術／特撮／怪獣／未発表作品や幻の企画案も一挙公開
月刊みれにあむ 大牟田 1月号 p.18(月刊みれにあむ社発行)		2015.新春美術館案内／福岡市美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣／「怪獣」を生み出し、「特撮」に情熱を注いだ「芸術家」、史上最大の回顧展!
SORA-IRO 2015年2-3月号 p.13(西日本新聞広告社発行)		イベント情報／成田亨 美術／特撮／怪獣
シティリビング No.1211 p.13(西日本リビング新聞社発行)		おでかけ 沿線イベントカレンダー／開催中～2/11(祝) 福岡市美術館／成田亨回顧展「成田亨 美術／特撮／怪獣」
アートコレクターズ 70号 pp.20-21(生活の友社発行)		新春特別企画アートもうで／SPECIAL PREVIEW／成田亨 美術／特撮／怪獣／怪獣と彫刻のはざまで／文・榎木野衣
茶道の研究 1 710号 p.69(大日本茶道学会発行)		中国・九州／福岡市美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣
リセット Vol.113 2015年2月号 p.14(リセット出版発行)		ART STAGE EVENT／「成田亨 美術／特撮／怪獣」／開催中～2月11日(水・祝)

美術手帖 2015.02 vol.67 NO.1018 p.23(美術出版社発行)	ART NAVI／FUKUOKA【福岡】／福岡市美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣
ばど No.0114 2015年2月号 p.29 (九州ばど発行)	アート／「成田亨」美術／特撮／怪獣
茶道の研究2 711号 p.62 (大日本茶道学会発行)	中国・九州／福岡市美術館／成田亨 美術／特撮／怪獣
美連協ニュース No.126 2015年5月号 p.8 (美術館連絡協議会事務局発行)	2014年美連協カタログ論文賞 優秀カタログ賞 美連協展部門／「成田亨 美術／特撮／怪獣」展成田亨作品集／富山県立美術館 福岡市美術館 青森県立美術館／ウルトラマンの著作権問題 乗り越えてベストセラーに／(三木敬介、山口洋三、工藤健志)

公募展

第49回福岡市美術展		
毎日新聞(朝刊)	H27.2.27	最高賞に志田さん(中央区)／福岡市美術展 7部門に応募1192点／【中山裕司】
西日本新聞(朝刊)	H27.2.27	福岡市美術展 入賞・入選者発表／最高賞 志田さん 写真部門／ベトナム女性写す 戦争乗り越えた力強さ
西日本新聞(朝刊)	H27.2.28	福岡市美術展 市長賞／努力実った9作品 福岡市美術展入賞・入選者
読売新聞(朝刊)	H27.3.3	特別賞に志田さん 福岡市美術展／写真「時をこえて」で

常設展

新収蔵品展－福岡の美術（1970年以降）を中心に－		
西日本新聞(朝刊)	H26.6.20	新収蔵品展－福岡の美術(1970年以降)を中心に－

新収蔵品展 ガンダーラ彫刻、インダス土器、仙厓など		
西日本新聞(朝刊)	H26.6.29	On Gallery オンギャラリー／新収蔵の古美術コレクション／福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H26.7.24	仏教彫刻など50点並ぶ／福岡市美術館で新収蔵品展

夏休みこども美術館2014		
毎日新聞(朝刊)	H26.8.3	「何がどうみえる」テーマ／福岡市「夏休みこども美術館」／絵画鑑賞を体験／【尾垣和幸】

トリックスターを捕まえろ！		
西日本新聞(夕刊)	H26.8.11	情報 Information／美術館／福岡市美術館／トリックスターを捕まえろ!

雪月花の美		
小原流揮花 767号 p.39(小原流発行)		雪月花の美

キロクとキオク		
朝日新聞(朝刊)	H27.2.10	探／「記憶」展相次ぐ福岡／震災機に高まる関心／不安な時代の反映も／(山崎聡)

OYAZI展		
毎日新聞(朝刊)	H27.3.13	「親父」テーマ所蔵16作品を展示／福岡市美術館、来月12日まで／5段階評価の解説も／【末永麻裕】

冬のおとなミュージアム いにしへの恋バナ		
読売新聞(朝刊)	H27.1.10	福岡・市美術館 市博物館 アジア美術館／「愛」テーマに共同企画展／3館巡るバスツアーも
読売新聞(朝刊)	H27.1.15	冬のおとなミュージアムLOVE／愛 関連プログラム／「愛」の3館バスツアー
毎日新聞(朝刊)	H27.1.15	「愛」テーマに 初の共同企画展／福岡市内3美術館／冬のおとなミュージアム／【末永麻裕】
毎日新聞(朝刊)	H27.1.18	福岡市博物館・福岡アジア美術館・市美術館／興味深く聴き入る／初の共同企画展 学芸員が案内 ギャリートーク／【平川哲也】
朝日新聞(朝刊)	H27.3.10	「LOVE／愛」テーマに新機軸 福岡市立3館の共同企画展／(山崎聡)
CLIM(クリム) 2015年2月号 p.62 (生活協同組合連合会コープ九州事業連合発行)		ここに刺激を／ART アート／文・木下貴子／福岡を“愛”でホットにする、3館共同の企画展／ 『冬のおとなミュージアム LOVE/愛』
Enjoy. PRINCE p.3 (日産プリンス福岡発行)		EVENT／冬のおとなミュージアム LOVE／愛 いにしへの恋バナ

常設企画展

鈴木貴博 生きろ美術館展		
西日本新聞(朝刊)	H26.7.27	On Gallery オンギャラリー／「生きろ」直球のメッセージ／鈴木貴博さん個展
西日本新聞(夕刊)	H26.8.4	情報 Information／美術館／福岡市美術館／鈴木貴博 生きろ美術館展
ふくおか 福たび 秋号(福岡市発行)		福岡2014ーあなた・アート・つながるー／大濠エリア／福岡市美術館／鈴木貴博 生きろ美術館展

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解出来るよう、ボランティアのギャラリートークなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアープログラム）

平成26年

6月12日(木)	和白丘中学校※ 1年生	生徒281人	引率15人
6月12日(木)	福岡雙葉中学校 1-3年生	生徒9人	引率2人
6月13日(金)	柏原中学校※ 2年生	生徒193人	引率8人
6月25日(水)	花畑中学校※ 2年生	生徒191人	引率9人
6月26日(木)	草香江小学校 4年生	児童128人	引率6人
7月 8日(火)	下山門中学校ステップルーム 2年生	生徒7人	引率1人
7月29日(火)	福岡女学院中学校 3年生	生徒10人	引率1人
10月17日(金)	多々良中央中学校※ 1年生	生徒200人	引率10人
10月23日(木)	東住吉中学校※ 1年生	生徒108人	引率6人
11月19日(水)	笹丘小学校 2年生	児童97人	引率4人
11月27日(木)	南当仁小学校 2・5年生	児童241人	引率9人
12月 2日(火)	志賀島小学校 5-6年生	児童5人	引率2人

平成27年

1月15日(木)	周船寺小学校 5年生	児童73人	引率3人
1月16日(金)	周船寺小学校 5年生	児童72人	引率3人
1月20日(火)	那珂南小学校 5年生	児童77人	引率3人
1月23日(金)	福岡教育大学付属福岡小学校 5年生	児童39人	引率2人
1月28日(水)	福岡教育大学付属福岡小学校 5年生	児童48人	引率3人
2月 4日(水)	東吉塚小学校 5年生	児童74人	引率3人
2月13日(金)	屋形原特別支援学校中等部 1-3年生	生徒8人	引率9人
2月13日(金)	内野小学校 5年生	児童61人	引率4人
2月25日(水)	野芥小学校 5年生	児童110人	引率4人
2月26日(木)	席田小学校 5年生	児童52人	引率3人
2月26日(木)	柏原小学校 5年生	児童94人	引率3人
2月27日(金)	東箱崎小学校 5年生	児童36人	引率3人
3月 4日(水)	原北小学校 5年生	児童79人	引率3人
3月 4日(水)	当仁小学校 1年生	児童101人	引率9人
3月 5日(木)	堤小学校 5年生	児童133人	引率3人
3月 6日(金)	壱岐南小学校 5年生	児童90人	引率4人

※は体験学習による来館校

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について話をするというもの。月1回行う。

第1回 又兵衛の歌仙絵 伝来の謎を解く

講 師：中山 喜一郎(運営部長) 開 催 日：平成26年4月26日(土) 14:00～15:30 参加者数：34人

第2回 所蔵品でたどる20世紀の美術

講 師：山口 洋三(主任学芸主事) 開 催 日：平成26年5月24日(土) 14:00～15:30 参加者数：34人

第3回 ガイドブックにのっていないミュージアム:イギリス編

講 師：神保 明香(学芸員) 開 催 日：平成26年6月21日(土) 14:00～15:30 参加者数：34人

第4回 十代藩主黒田^{なりきよ}斉清と殿様生物学

講 師：錦織 亮介(館長) 開 催 日：平成26年7月26日(土) 14:00～15:30 参加者数：12人

第5回 油彩画の修復 藤森静雄《自画像》を中心に

講 師：渡抜 由季(学芸員) 開 催 日：平成26年8月23日(土) 14:00～15:30 参加者数：12人

第6回 教育者としての岡田三郎助と周囲の人たち

講 師：土橋 佳那子(嘱託学芸員) 開 催 日：平成26年9月20日(土) 14:00～15:30 参加者数：11人

第7回 芦屋釜下絵図巻と土佐光信

講 師：中山 喜一郎(運営部長) 開 催 日：平成26年10月25日(土) 14:00～15:30 参加者数：17人

第8回 館蔵 東南アジア美術を10倍楽しむために

講 師：後藤 恒(総括主任学芸員) 開 催 日：平成26年11月15日(土) 14:00～15:30 参加者数：13人

第9回 アートと植物は相性がいい?～「夢見る植物園」を中心に

講 師：鬼本 佳代子(主任学芸主事) 開 催 日：平成26年12月20日(土) 14:00～15:30 参加者数：23人

第10回 1936年―博多築港記念大博覧会の頃―

講 師：吉田 暁子(主任学芸員) 開 催 日：平成27年1月24日(土) 14:00～15:30 参加者数：21人

第11回 伝・源実朝筆 日課観音図をめぐって

講 師：岩永 悦子(学芸係長) 開 催 日：平成27年2月21日(土) 14:00～15:30 参加者数：26人

第12回 美術とフェミニズム

講 師：正路佐知子(主任学芸員) 開 催 日：平成27年3月28日(土) 14:00～15:30 参加者数：23人

福岡ミュージアムウィーク2014

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知っていただくために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、福岡市内の11館が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールする事業。

提携館：福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市埋蔵文化財センター・「博多町屋」ふるさと館・はかた伝統工芸館・王貞治ベースボールミュージアム・九州大学総合研究博物館・九州産業大学美術館・西南学院大学博物館・アートギャラリー三菱地所アルティウム

期間：平成26年5月17日(土)～5月25日(日)

常設展観覧料無料

観覧者数：6,695人(期間中の常設展示室入場者数)

スタンプラリー

参加館11館のうち2館分のスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

応募数：1,254人(11館の合計)

講演会「古美術v.s.現代美術 ー日本美術を楽しむために」

日時：平成26年5月17日(土) 14:00～15:30

講師：山下裕二(明治学院大学教授)

会場：1階講堂 **聴講者数**：175人



講演会「古美術 v.s.現代美術ー日本美術を楽しむために」

法隆寺展記念講演会「聖徳太子絵伝と太子説話」

詳細は5ページを参照

アジア代表日本2014 「染め」ワークショップ

日時：平成26年5月18日(日) 10:00～15:00

講師：日比野克彦 **技術指導**：福田隆雄(福田屋染物店)

会場：1階教養講座室 **参加者数**：60人

ミニミニワークショップ

日時：平成26年5月20日(火)～5月23日(金) 10:00～15:00

講師：オーギカナエ(アーティスト・5月21日のみ)

会場：2階 キッズコーナー 森のたね

参加者数：子ども70人 大人66人 **対象**：未就学児童

つきなみ講座「所蔵品でたどる20世紀の美術」

詳細は18ページを参照

建築ツアー

日時：平成26年5月24日(土)、25日(日) 10:30～12:00

集合場所：1階ロビー

参加者数：46人

ハイライトツアー

日時：平成26年5月17日(土)～5月25日(日) 11:00～、14:00～ 各40分

集合場所：1階ロビー

参加者数：120人

けやき通り音楽祭2014 チャリティーコンサート

日時：平成26年5月24日(土)、25日(日) 14:00～16:00

会場：1階講堂

参加者数：300人

夏休みこども美術館2014

こどもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やワークショップ、ギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成26年度は「なにがみえる?どうみえる?」をテーマとし、作品を視界にいれるだけの“みる”ではなく、自ら、なにがみえるか、どうみえるか問いかけながら作品を“観る”ことができるようなプログラムを実施した。

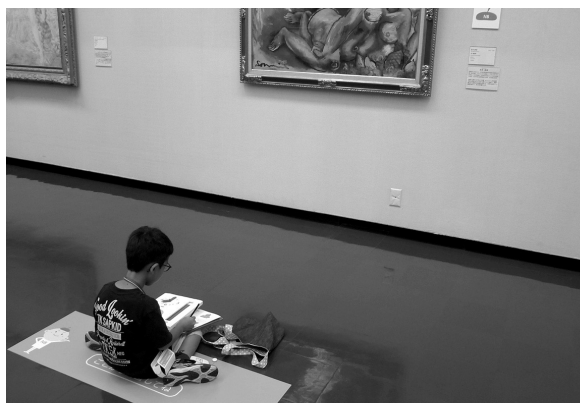
プログラムの会期：平成26年7月23日(水)～8月31日(日)
印刷物：ワークシート(A3)、意見シート(A6)

アート特別調査員

企画展示等の日程の関係で展示室一室を使用しての展示会はず、常設展示全体を鑑賞できるプログラムを実施した。

参加者に「アート特別調査員」になってもらい、ワークシートである「調査報告書」と鑑賞を補助する簡単な道具が入った「リサーチバッグ」を使用しながら作品を調査していく。鑑賞を調査と言い換えることで気構えず、遊び感覚で楽しく鑑賞出来るようにした。

日時：会期中毎日 10:00～16:00 随時受付
会場：常設展示室 対象：小学生
参加費：常設展示観覧料 参加者数：703人



アート特別調査員

ギャラリートัวร์forキッズ!

当館のギャラリーガイドボランティアが選んだ3作品を紹介するものであり、その方法を3種類用意した。1つは様々な形容詞が書かれた「形容詞カード」を参加者の1人に引いてもらい、引いたカードに書かれた形容詞に合う作品を参加者それぞれに選んでもらうもの。2つ目は「吹き出し棒」を作品や作品に描かれている人物などの傍にあててそのセリフを考えるもの。3つ目は作品を遠くから徐々に近付いてみていき最終的に虫眼鏡を使って鑑賞するものである。1作品につき1つの鑑賞方法を行った。

日時：会期中毎日 14:00～14:30
会場：常設展示室 対象：小学生
参加費：常設展示観覧料 参加者数：こども128人 大人67人



ギャラリートัวร์forキッズ!

キッズコーナーで遊ぼう!

常設展示中の作品をモチーフに作ったぬりえやパズルを、キッズコーナーに設置し、当館ボランティアや職員が常駐してこどもたちが自由に遊べるようにした。

日時：会期中の平日10:00～13:00 随時受付
会場：2階 キッズコーナー 森のたね 対象：未就学児
参加費：無料 参加者数：こども221人 大人165人

夏休みこどもとしゃかん

日時：会期中毎日
会場：読書室
内容：23ページを参照

ファミリーDAY

若い世代のファミリーに向け、開館記念日(11月3日)の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、ワークショップ等の教育プログラムを館内各所で実施した。平成25年度から継続して開催している事業。当館ボランティアおよび博物館実習生もスタッフとして活動に参加した。

期 間：2014年11月1日(土)～3日(月・祝) 10:00～15:00
のべ参加人数：833人
印刷物：チラシ(A4)

ミニミニワークショップ

タネ型の箱の中から3つの素材をひいてもらい、それを組み合わせて、参加者が思い思いにキッズコーナー「森のたね」にちなんだ森の仲間を作った。造形そのものを楽しんでもらうと同時に未就学児童の初めての造形活動を支援するプログラムである。

日 時：11月1日(土)～3日(月・祝)
講 師：オーギカナエ(アーティスト・11月1日のみ)
場 所：キッズコーナー「森のたね」
対 象：未就学児童とその保護者 参加者数：216人

ぬってみよう！どんな色？

展示作品のぬりえを準備し、色をぬってもらった。その後、展示室で実際の作品とぬりえを見比べることで、鑑賞のきっかけとしてもらうことをねらいとした活動。小さなこどもから大人までが参加した。

日 時：11月1日(土)～3日(月・祝)
場 所：1階ロビー
対 象：こどもから大人まで 参加者数：322人

キミは名探偵！美術館の謎をときあかせ

美術館の館内および展示作品をテーマにした5つの問題を記載したワークシートを制作した。参加者はワークシートを持って5つのポイントを回り、回答を記載していった。問いに答えながら、自然と美術館に親しみ、また作品鑑賞のきっかけづくりを目的とした活動。

日 時：11月1日(土)～3日(月・祝)
場 所：2階ロビー、常設展示室
対 象：小学生以上 参加者数：232人

色とかたちで秋をえがこう！

アーティストによるワークショップ。屋外に植物をとりに行き、そのかたちを観察した。その後、植物のかたちを好きな色で、アクリル絵具を使って透明シートに描いた。

日 時：11月1日(土) 13:00～(2時間程度)
講 師：瀬戸口朗子(アーティスト)
場 所：1階教養講座室
対 象：小学生以上 参加者数：20人

絵からとびだす物語

平成25年度に引き続き、ギャラリーガイドボランティアの日曜日グループが考案し、実施したワークショップ。ボランティアとともに作品を鑑賞し、作品についての物語を作り、寸劇仕立てで発表をした。

日 時：11月2日(日) 10:30～、13:30～(各1時間30分程度)
場 所：常設展示室
対 象：小学生以上 参加者数：26人

秋の植物で作品をつくろう！

常設展「夢見る植物園」から、植物がモチーフになった作品を鑑賞した。その後、大濠公園に秋の植物を探しにいき、見つけたものを使って、それぞれ秋の夕食に使いたい器を制作した。

日 時：11月3日(月・祝) 10:00～(2時間程度)
場 所：1階ロビー
対 象：小学生以上 参加者数：22人



秋の植物で作品をつくろう！

いきヨウヨウ講座「音と色とかたち」

平成25年度から開始した60歳以上対象の講座。美術体験を通して、これまでの経験を再確認し、明日の活力としてもらうことが目的。第二回目となる本年度は、当館所蔵のジョアン・ミロの《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》の創作源となったパロマ聖堂でのオルガン演奏CDを、作品を鑑賞しながら聞き、その後、別の音楽を聴きながら絵画制作を行った。

日 時：平成27年3月14日(土)10:00～12:00
参加者数：15人



夢見る植物園

福岡市植物園の協力のもと、植物をテーマとした展覧会を企画。平成25年度のいきヨウヨウ講座でも植物園の協力を仰いだが、今回は作品解説にも協力してもらうことで、作品のさらなる魅力を引き出し、両者にとって新たな知見を得ることができた。

常設展 夢見る植物園

詳細は11ページ参照

秋のみちくさんぽ

市植物園職員と当館学芸員の案内で、植物を表した作品を鑑賞後、植物観察をしながら徒歩で市植物園に移動し、同園では描かれた植物の実物を観察するなどした。

日 時：平成26年11月9日(日)10:00～15:00
参加者数：10人



秋のみちくさんぽ

植物で屏風を作ろう！

植物を表した屏風作品を当館で鑑賞後、バスで市植物園に移動し、実際の植物を使って、屏風作品を制作した。

日 時：平成26年11月29日(土)13:00～17:00
参加者数：9人

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。平成26年度は下記大学の8人を受け入れた。実習期間は平成26年5月13日から11月30日のうちの10日間。

■ 関西学院大学	文学部 文化歴史学科 1人
■ 九州産業大学	芸術学部 美術学科 1人
■ 久留米大学	文学部 心理学科 1人
■ 西南学院大学	国際文化学部 国際文化学科 2人
■ 筑紫女学院	文学部 日本語・日本文学科 1人
	文学部 アジア文化学科 1人
■ 福岡大学	人文学部 歴史学科 1人

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度1校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

日 時：平成26年7月2日(水)
場 所：城南中学校

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及活動を行った。

常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集した。

特別展関連図書特集

平成26年4月19日(土)～6月1日(日)「法隆寺展」関連
平成26年9月2日(火)～9月28日(日)「黒田家の美術」関連
平成26年10月11日(土)～11月24日(月・祝)「更紗の時代」関連
平成27年1月6日(火)～2月11日(水・祝) 「成田亨 美術／特撮／怪獣」関連

読書室企画図書特集

夏休みこどもとしゃかん2014

日 時：平成26年7月23日(水)～8月31日(日)
会 場：読書室
内 容：夏休みこども美術館2014「なにがみえる?どうみえる?」に関連して、美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものや展示作品に関連するものなど、美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような児童向けの絵本・美術書など22冊を特集した。

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在で、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。また平成26年7月よりOB会が発足。また、8月には新規ボランティア(第8期)を募集し、10月より研修を実施した。さらに、平成16年度に作成したガイドラインにより、10年任期のボランティアが任期を終了した。同時に、時代に合わせ、ボランティア活動を再定義し、ガイドラインを改訂した。

[共通活動]

■総会

日 時：平成26年5月12日(月)
場 所：講堂

■館外研修

日 時：平成26年6月8日(日)
場 所：北九州市立自然史・歴史博物館いのちのたび博物館、直方谷尾美術館
参加人数：30人

■ボランティア交流会

日 時：平成26年12月12日(金)
参加人数：OB13人 現役26人

■10年任期ボランティア退任式

日 時：平成27年3月21日(土)
場 所：講堂
退任ボランティア：27人

■新規ボランティア研修

第1回研修 平成26年10月12日(日)、10月15日(水)
第2回研修 平成26年10月18日(土)、10月21日(火)
第3回研修 平成26年10月25日(土)、10月28日(火)
第4回研修 平成26年11月8日(土)、11月11日(火)
第5回研修 平成26年11月15日(土)、11月18日(火)
第6回研修 平成26年11月22日(土)、11月26日(水)
第7回研修 平成26年11月29日(土)、12月2日(火)
第8回研修 平成26年12月6日(土)、12月9日(火)
第9回研修 平成26年12月13日(土)、12月16日(火)
第10回研修 平成26年12月20日(土)、12月24日(水)



館外研修

ギャラリーガイドボランティア

平成26年度の登録人数：57人

[活動内容]

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、自ら決めたテーマに沿って常設展示室の展示作品から3点を選び、参加者との対話を重視しながら鑑賞活動を行う。参加は無料。

※5月17日～25日「福岡ミュージアムウィーク2014」の期間は代わりにハイライトツアーを、7月23日～8月31日の「夏休みこども美術館2014」会期中の14時はギャラリーツアーforキッズ!を開催。また11月1日～3日は「ファミリーDAY」のため中止。

参加延べ人数：516人

■ギャラリーツアーforキッズ!

平成20年度より始まったこどもを対象とした常設展示ギャラリーツアー。毎月第2土曜日、第2日曜日の午後2時から実施。ボランティアが自ら決めたテーマに沿って3点を選び参加者に紹介する。基本的な構成はギャラリーツアーと同様。

※6月8日(日)は展示替え・設備点検による閉室のため、中止。

参加延べ人数：12人

■団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。なお、市内学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目(17ページ)を参照のこと。

平成26年

4月24日(木)	40th SPC	15人	引率1人
4月25日(金)	40th SPC	37人	引率1人
4月29日(火)	九州大学「芸術文化環境論」受講生	生徒70人	引率1人
5月13日(火)	女性学級	20人	引率1人
5月22日(木)	九州産業大学付属九州高校 1-2年生	生徒166人	引率7人
5月24日(土)	古賀市アートバス	4人	引率7人
5月28日(水)	福岡県立玄界高校 2年生	生徒55人	引率2人
6月17日(火)	成徳保育園	園児47人	引率4人
6月19日(木)	ジバング倶楽部	8人	
6月21日(土)	古賀市アートバス	15人	引率8人
6月22日(日)	四日市中組婦人会	8人	
6月22日(日)	春日東中学校美術部 1-3年生	生徒28人	引率2人
6月29日(日)	遠賀郡岡垣町立岡垣中学校美術部 1-3年生	生徒24人	引率1人
7月 4日(金)	ジバング倶楽部	10人	引率1人
7月 4日(金)	久留米大学附設中学校 2年生	生徒119人	引率5人
7月31日(木)	九州外語専門学校	生徒10人	引率1人
8月 5日(火)	佐賀北高校美術部	生徒39人	引率4人
8月 7日(木)	西海市立西彼中学校美術部	生徒31人	引率3人
9月 9日(火)	ワークショップ「ピカソになって肖像画～親子で楽しむライブペインティング～」	3人	
9月10日(水)	山口芸術短期大学	生徒83人	引率11人
10月10日(金)	ジバング倶楽部	27人	引率1人
10月21日(火)	井尻保育園	園児50人	引率5人
11月 2日(日)	小倉中央校区天神島衛生協会	35人	
11月 7日(金)	那珂川シーアクラブ連合会	17人	
11月12日(水)	宗像市立南郷小学校 4-6年生	児童110人	引率6人
11月14日(金)	久留米大橋コミュニティセンター	20人	
11月23日(日)	茨城県建築事務所協会	35人	
12月 2日(火)	遠賀郡芦屋町立芦屋中学校 1年生	136人	引率10人
12月 5日(金)	小郡市立東野小学校 4年生	児童44人	引率3人
12月11日(木)	みやま市立大江小学校 5年生	児童41人	引率3人

平成27年

1月27日(火)	大野城市立大利小学校 5年生	児童140人	引率5人
2月 3日(火)	福津市立上西郷小学校 6年生	児童15人	引率2人
2月 4日(水)	久留米市立金丸小学校 5年生	児童97人	引率3人
2月21日(土)	熊本県立大津高校美術部	生徒40人	引率3人
3月13日(金)	太宰府特別支援学校小学部 1-5年生	児童7人	引率7人

■新規ボランティア グループ研修

新規ギャラリーガイドボランティアを対象に、ツアーの方法等について、以下の日程で研修(全8回)を行った。

グループ研修参加新規ボランティア：45人

- 第1回 平成27年1月10日(土)、1月14日(水)
- 第2回 平成27年1月17日(土)、1月21日(水)
- 第3回 平成27年1月24日(土)、1月28日(水)
- 第4回 平成27年1月31日(土)、2月4日(水)
- 第5回 平成27年2月14日(土)、2月18日(水)
- 第6回 平成27年2月21日(土)、2月24日(火)
- 第7回 平成27年2月28日(土)、3月4日(水)
- 第8回 平成27年3月7日(土)～8日(日)、3月10日(火)～14日(土)、3月17日(火)

新聞ボランティア

平成26年度の登録人数：43人

【活動内容】

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

月曜日：毎日新聞
火曜日：読売新聞
水曜日：西日本新聞
木曜日：朝日新聞
土曜日：日経新聞

月に1回共同作業日(原則毎月10日前後)を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。訃報記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回ペースで作成した(第139号～150第号)。

平成26年

4月 14日(月)	共同作業 2月分記事チェック、ファイル(参加11人)
4月 26日(土)	土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第139号作成
4月 28日(月)	訃報記事整理(参加8人)
5月 13日(火)	共同作業 記事チェック、ファイル(参加9人)
5月 19日(月)	月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第140号作成
5月 27日(火)	訃報記事整理(参加6人)
6月 11日(水)	共同作業 記事チェック、ファイル(参加4人)
6月 24日(火)	火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第141号作成
6月 25日(水)	訃報記事整理(参加6人)
7月 10日(木)	共同作業 5月分記事チェック、ファイル(参加5人)
7月 23日(水)	水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第142号作成
7月 31日(木)	訃報記事整理(参加5人)
8月 9日(土)	共同作業 6月分記事チェック、ファイル(参加3人)
8月 28日(木)	木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第143号作成
8月 30日(土)	訃報記事整理(参加4人)
9月 8日(月)	共同作業 7月分記事ファイル、チェック(参加9人)
9月 20日(土)	土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第144号作成
9月 29日(月)	訃報記事整理(参加8人)
10月 14日(火)	共同作業 記事ファイル、チェック(参加6人)
10月 20日(月)	月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第145号作成
10月 28日(火)	訃報記事整理(参加6人)
11月 12日(水)	共同作業 記事ファイル、チェック(参加4人)
11月 18日(火)	火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第146号作成
12月 3日(水)	訃報記事整理(参加2人)
12月 10日(水)	水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第147号作成
12月 11日(木)	共同作業 記事ファイル、チェック(参加6人)

平成27年

1月 22日(木)	木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第148号作成
1月 31日(土)	共同作業 11月分記事ファイル(参加4人)
2月 3日(火)	研修会・懇親会
2月 9日(月)	共同作業 12月分記事チェック、ファイル、古い記事の整理(参加6人)
2月 21日(土)	土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第149号作成
2月 23日(月)	訃報記事整理(参加8人)
3月 10日(火)	共同作業 学習会(参加8人)
3月 30日(月)	月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第150号作成
3月 31日(火)	訃報記事整理(参加8人)

■新規ボランティア グループ研修

新規の新聞情報整理ボランティアのために、切り抜きや保存の方法等について下記の通り研修を行った。

グループ研修参加新規ボランティア：25人

- 第1回 平成27年1月6日(火)、10日(土) 13:00～15:00
- 第2回 平成27年1月13日(火)、17日(土) 13:00～15:00
- 第3回 平成27年1月20日(火)、24日(土) 13:00～15:00

図書整理ボランティア

平成26年度の登録人数：21人

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

【活動内容】

■目録カード整理作業

- 目録カードに標目を記載する。
- 分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

■パンフレット資料整理作業

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

■広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理作業

- 雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
- 福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入作業

- ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
- 資料を書架に配架する。

■書架整理作業

- 書架の本を順番通りに並べる。
- 書架整理に必要な保存箱を作成する。

■パソコン入力作業

- 図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。
- パンフレット等の資料を所蔵している作家の情報をパソコンに入力する。

■新規ボランティア グループ研修

新規図書整理ボランティアのため、パンフレットの整理やパソコンの使用方法等の研修を、下記の通り実施した。

グループ研修参加新規ボランティア：3人

- 第1回 平成27年1月16日(金)、17日(土) 13:30～15:30
- 第2回 平成27年1月23日(金)、24日(土) 13:30～15:30
- 第3回 平成27年1月30日(金)、31日(土) 13:30～15:30
- 第4回 平成27年2月6日(金)、7日(土) 13:30～15:30
- 第5回 平成27年2月13日(金)、14日(土) 13:30～15:30
- 第6回 平成27年2月20日(金)、21日(土) 13:30～15:30
- 第7回 平成27年3月4日(水)、7日(土) 13:30～15:30

美術家情報整理ボランティア

平成26年度の登録人数：13人

【活動内容】

- ①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イベント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化する。2015年9月2日現在で17,066件のデータを入力済み。
- ②データ入力の済んだDMを整理し、保管する。収納用封筒のサイズ交換を行い、効率的な収納とスムーズな閲覧(職員による館内使用)に努めている。

【活動日】

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。

月に1度合同作業日を設け、蓄積されたDM(ダイレクトメール)を効率的に収納するため、DM保存用の封筒のサイズ交換作業を行う。

年に1度、合同作業日に全体ミーティングを行い、活動内容の確認や意見交換を行う。

■新規ボランティア グループ研修

平成26年度、新規に募集したボランティアを受け入れ、研修を行った。

グループ研修参加新規ボランティア：7人

第1回 平成27年2月18日(水) 13:30～15:00

第2回 平成27年2月25日(水) 13:30～15:00

第3回 平成27年3月4日(水) 13:30～15:00

出版物

展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り	A4	176	奈良国立博物館、岡崎市美術博物館、静岡市美術館、福岡市美術館、読売新聞社編集・読売新聞社発行
大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 ぎらめきの大名道具	A4変形	128	福岡市美術館(中山喜一郎、鬼本佳代子、神保明香)編集・福岡市美術館発行
更紗の時代	A4変形	304	福岡市美術館(岩永悦子、正路佐知子)編集・福岡市美術館発行
成田亨作品集	B5変形	399	富山県立近代美術館(三木敬介)福岡市美術館(山口洋三)、青森県立美術館(工藤健志)編集・株式会社羽鳥書店発行
第49回福岡市美術展	A4変形	47	福岡市美術展運営委員会編集・発行

常設展リーフレット

■近現代美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
294	新収蔵品展－福岡の美術(1970年以降)を中心に	B4	2	企画展示室、小作品室	平成26年 6月10日
295	告発する美術2 ジョージ・グロスとオットー・ディックス	B4	2	小作品室	平成26年 8月 5日
296	版画って何？	B4	2	小作品室	平成26年10月28日

■古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
219	新収蔵品展	B4	2	古美術企画展示室	平成26年 6月10日
田中丸コレクション 解説第3号	九州古陶の美「食の器」	B4	2	古美術企画展示室	平成26年 6月10日
220	耳庵と茶道具 戦前の収集品を探る	B4	2	松永記念館室	平成26年 6月10日
221	館蔵 東南アジア美術展	B4	2	古美術企画展示室	平成26年10月 7日
222	福の神 大集合	B4	2	古美術企画展示室	平成26年12月 2日
223	伝・源実朝筆 日課観音図をめぐる	B4	2	松永記念館室	平成27年 2月 3日

■夏休みこども美術館2014 リーフレット

名称	規格	頁数	発行日
アート特別調査員 調査報告書	A4	4	平成26年 7月23日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成25年度 福岡市美術館活動の記録	A4	50	平成27年 1月30日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第3号	A4	32	平成27年 3月13日

福岡市美術館ニュース エスプラナード

No.		規格	頁数	発行日
175	学芸課活動日誌 2013年4月1日～2014年2月27日／図録の紹介 『想像しなおし IN SEARCH OF CRITICAL IMAGINATION』(学芸員 正路佐知子)、『没後50年 上田宇三郎展—もうひとつの時間へ—』(学芸員 吉田暁子)、『茶の湯交遊録 小林一三と松永安左エ門 逸翁と耳庵の名品コレクション』(学芸員 岩永悦子)／4～6月の特別展示 『法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り』に寄せて(学芸員 後藤恒)／いちおしのコレクション展 桜井孝身／オチ・オサム／石橋泰幸—九州派黎明期を支えた3人の画家(学芸員 山口洋三)／岩佐又兵衛 36×2 ふた組の『三十六歌仙絵』—挙公開! (学芸課長 中山喜一郎)／—日誌に寄せて— 記録から蘇る「存在」(学芸員 山口洋三)／イベントの紹介／＜編集後記＞(山口)	A2版4つ折り	2	平成26年 4月 1日
176	“美術館と人” 「あなたと美術館のエピソード」／近現代美術室の展示が新しくなりました 「踊りだす色と形」、「イメージを読む」 吉田暁子/近現代美術係／保存と修復のこと 渡抜由季/近現代美術係／海外出張日記 イギリスの香り 神保明香/教育普及係／学芸員4コマ劇場 作じんぼ／展覧会とイベント NHK大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具 中山喜一郎/運営部長／＜夏休みこども美術館2014＞ 土橋佳那子/教育普及係／鈴木貴博 生きる美術館展 山口洋三/近現代美術係／＜7月～9月のつきなみ講座＞／市民ギャラリー／オリジナルグッズ／どどいつ「学芸員あるある」／案内	A2版4つ折り	2	平成26年 7月 1日
177	特別展によせて 更紗の時代 更紗、海を渡る 岩永悦子、「らしさ」を攪乱する更紗 正路佐知子／常設展紹介・その1 「画」を隠す「布」—「画／布」展紹介に代えて— 吉田暁子／更紗の時代 本誌記事3～5ページ／常設展の出品作品、[「更紗の時代」関連プログラム]／常設展紹介・その2 小像が伝える壮大な奇蹟 後藤恒／常設展紹介・その3 「夢見る植物園」に仕掛けられた「種」 鬼本佳代子／秋の読書室 中務美紀／特別展・常設展(10月～12月)／イベント／＜あとがき＞	A5版	16	平成26年10月 1日
178	特別企画展「成田亨 美術／特撮／怪獣」について担当学芸員の山口洋三さんに聞きました。 ウルトラマンの生みの親、史上最大の回顧展!／＜冬のおとなミュージアム LOVE/愛＞いにしえの恋バナ(岩永悦子)／ボランティアさんの研修(鬼本佳代子)／私の好きな所蔵作品／あなたの宝物見せてください／特別展・常設展(1月～3月)／イベント／特別展示室・市民ギャラリーの展示(1月～3月)／＜エスプラナードアンケート＞／＜あとがき＞	A4版	8	平成27年 1月 1日

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画

冬のおとなミュージアム「LOVE/愛」

夏の子ども向け企画に対し、冬に大人の人々に、常設展示室を楽しんでもらうことを目的とし、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の連携企画として経済観光文化局文化振興課主導で開催された展覧会およびその関連事業。毎年開催することとなり、初年度にあたる今回は「LOVE/愛」を共通テーマとした。

■常設展

「いにしへの恋バナ」 12ページ参照

■関連事業

『愛』の3館バスツアー

日 時：2月7日(土)13:00～18:00

参加者数：20人

ギャラリートークリレー ～3つの愛のカタチ～

日 時：平成27年2月14日(土)14:00～15:00

参加者数：21人

協力事業

大学の授業等への協力

当館学芸員によるレクチャーを行った。

日 時：平成26年4月29日(火)

参 加 者：九州大学芸術工学部「芸術文化環境論」 学生70人 引率1人

日 時：平成26年6月29日(日)

参 加 者：福岡教育大学 学生50人 引率1人

日 時：平成26年7月6日(日)

参 加 者：九州産業大学 学生16人 引率1人

図画工作教育研究会への協力

図画工作教育研究会会員教員のためにレクチャーおよびワークショップを行った。

日 時：平成26年6月14日(土)

天神ワーク体験への協力

民間が実施する職場体験活動に協力。

日 時：8月12日(火) 参 加 者：小学生5人

九州アーティストファイル「直観のジオラマ」展への協力

福岡アジアトリエンナーレと同時期に開催された、九州・沖縄の若手アーティストの展覧会に共催した。

日 時：平成26年9月4日(木)～9月28日(日) 主 催：九州・沖縄アーティストファイル実行委員会

「ピカソになって肖像画～親子で一緒に楽しむライブペインティング～」への協力

NPO法人子ども文化コミュニティ他が実施した未就学児童向けのワークショップのため、会場の提供と、学芸員による保護者向けギャラリートークを行う。

日 時：平成26年9月9日(火) 主 催：初めての芸術との出会い実行委員会

紀要の発行

平成26年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第3号」を発行した。
内容は以下の通りである。

題目	執筆者
【報告文】藤森静雄《自画像》調査・保存修復報告 ―画家が描いた二つの自画像―	渡抜 由季
調査報告:ミュージアムにおけるキャプションの役割について―英国の事例より	神保 明香
夏休みこども美術館2014における新たな試み	土橋 佳那子
研究ノート 田部光子研究の現在と《プラカード》(1961年)について	正路 佐知子
隠されたコレクションー中山森彦旧蔵品調査の経過報告としてー	吉田 暁子

館外調査

福岡市美術館では、諸事業の充実を図りその効果を高めるため、たゆまぬ調査研究活動に努めている。以下は、平成26年度に館外においておこなった主な調査研究記録である。

日時	目的	訪問先	日数	担当	関連する事業
平成27年 1月27日～2月1日	更紗調査	インド：染織シンポジウム参加 国立美術館(デリー)	6	岩永悦子	科学研究費助成事業
平成27年3月15日～24日	更紗調査	インド：ミッタル美術館(ハイデラバード)、 国立美術館、クラフツ・ミュージアム(デリー)ほか シンガポール：リー・コレクション、ババ・ハウス このほか国内でも調査	10	岩永悦子	科学研究費助成事業

美術資料

平成26年度、福岡市美術館は近現代美術資料を26点、古美術資料を62点収集した。

近現代美術

所蔵品番号順

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	法量 (cm)	制作年	素材・技法	収集法	備品受入番号
油彩	1-A-655	今長谷 巖	親類の家	97.3×126.5	1941年以前	油彩・画布	寄贈	42613895
油彩	1-A-656	岡田 三郎助	夏ノばら	23.8×33.0	1934年	油彩・画布	寄贈	42613883
油彩	1-A-657	小幡 英資	さざれ石の・考2	60.2×60.0	2011年頃	石、塗料・板	寄贈	42613884
油彩	1-A-658	小幡 英資	ヤマ唄・考3	72.5×102.7	制作年不詳	石、塗料・板	寄贈	42613885
油彩	1-A-659	小幡 英資	(題不詳)	91.0×60.8	制作年不詳	油彩・画布	寄贈	42613886
油彩	1-A-660	小谷 修一	相聞或いは挽歌A'.B'(A')	162.2×130.4	1975年	油彩・画布	寄贈	42613887
油彩	1-A-661	小谷 修一	相聞或いは挽歌A'.B'(B')	162.2×130.5	1975年	油彩・画布	寄贈	42613888
油彩	1-A-662	田部 光子	たった一つの実在を求めて	95.9×39.3×3.0	1963年	油彩、墨、 転写シール・板	寄贈	42613904
油彩	1-A-663	田部 光子	たった一つの実在を求めて	96.0×41.3×3.0	1963年	油彩、印刷物、 アクリル板・板	寄贈	42613905
日本画	1-B-225	上田 宇三郎	あじさい	48.3×54.5	制作年不詳	紙本着色	寄贈	42615275
日本画	1-B-226	上田 宇三郎	水	90.6×72.3	1961年	紙本墨画	寄贈	42613892
日本画	1-B-227	上田 宇三郎	静物	45.2×53.0	1953年	紙本着色	寄贈	42613890
日本画	1-B-228	上田 宇三郎	風景	45.0×51.7	1951年頃	紙本墨画	寄贈	42613889
日本画	1-B-229	上田 宇三郎	樹林	60.4×72.6	1957-60年	紙本墨画	寄贈	42613891
日本画	1-B-230	上田 宇三郎	樹林	47.8×60.7	1957年	紙本墨画	寄贈	42613893
日本画	1-B-231	上田 宇三郎	題不詳	33.4×24.0	制作年不詳	紙本着色	寄贈	42613894
水彩	1-C-289	大黒 愛子	題不詳	62.3×47.0	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613896
水彩	1-C-290	大黒 愛子	題不詳	62.5×47.0	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613897
水彩	1-C-291	大黒 愛子	題不詳	62.5×46.9	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613898
水彩	1-C-292	大黒 愛子	題不詳	62.5×45.8	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613899
水彩	1-C-293	大黒 愛子	題不詳	62.5×46.8	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613900
水彩	1-C-294	大黒 愛子	題不詳	62.4×46.9	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613901
水彩	1-C-295	大黒 愛子	題不詳(作品)	21.5×68.5	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613902
水彩	1-C-296	大黒 愛子	題不詳(作品)	21.5×68.5	1993年	アクリル、鉛筆・紙	寄贈	42613903
映像	1-L-1	鈴木 淳	だけなんなん001-049		(映像)2000-2002年、 (その他)2002/2015年	DVD、HDD、写真、 紙、木箱、ゴム印	寄贈	42613906
油彩	2-A-156	レオナルド・フジタ (藤田 嗣治)	栗色の髪の女	22.0×16.0	制作年不詳	油彩・画布	寄贈	42613882

古美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量 (cm)	時代	品質	収集法	備品受入番号
陶磁	14-Ha-188	日本	伊万里 色絵牡丹唐花文鉢	高さ7.3 口径23.2 高台径9.4	江戸時代	磁器	寄贈	42613927
陶磁	14-Ha-189	日本	初期伊万里 染付釣人物図皿	口径20.5 高台径7.4 高さ3.2cm	江戸時代	磁器	寄贈	42613928
陶磁	14-Ha-190	日本	伊万里 色絵婦人像	高さ35.5 幅12.5 奥行11.2	江戸時代	磁器	寄贈	42613929
陶磁	14-Ha-191	日本	柿右衛門様式 色絵梅樹文徳利	高さ27.5 口径2.6 胴径14.5 高台径8.6	江戸時代	磁器	寄贈	42613930
陶磁	14-Ha-192	日本	柿右衛門様式 色絵松竹梅孔雀図十角皿	口径23.5 高台径13.4 高さ3.0	江戸時代	磁器	寄贈	42613931
陶磁	14-Ha-193	日本	柿右衛門様式 色絵梅樹文手付水注	総高8.6 幅8.5 総奥14.8	江戸時代	磁器	寄贈	42613932
陶磁	14-Ha-194	日本	柿右衛門様式 染付木賊に鶏文皿	口径18.2 高台径11.9 高さ2.9	江戸時代	磁器	寄贈	42613933
陶磁	14-Ha-195	日本	柿右衛門様式 染付竹に燕文皿	口径22.1 高台径14.8 高さ3.0	江戸時代	磁器	寄贈	42613934
陶磁	14-Ha-196	日本	柿右衛門様式 染付雪輪に紅葉文皿	口径14.6 高台径8.9 高さ3.0(各)	江戸時代	磁器	寄贈	42613935

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	時代	品質	収集法	備品受入番号
陶磁	14-Ha-197	日本	柿右衛門様式 色絵花唐草文鉢	高さ5.3 口径14.0 高台径6.4(各)	江戸時代	磁器	寄贈	42613936
陶磁	14-Ha-198	日本	柿右衛門様式 色絵円文茶碗	高さ6.0 口径15.3 高台径4.9	江戸時代	磁器	寄贈	42613937
陶磁	14-Ha-199	日本	鍋島 染付水仙薔薇文皿(五寸皿)	口径14.7 高台径7.9 高さ4.2	江戸時代	磁器	寄贈	42613938
陶磁	14-Ha-200	日本	鍋島 青磁陽刻雲文皿	口径15.0 高台径7.8 高さ4.3(各)	江戸時代	磁器	寄贈	42613939
陶磁	14-Ha-201	日本	薩摩 金欄手花鳥図鉢	口径12.1 高さ5.0 高台径5.0	近代	陶器	寄贈	42613940
陶磁	14-Ha-202	日本	薩摩 唐子遊図瓢形水注	総高8.2 総奥9.4 胴径5.3 高台径3.1	近代	陶器	寄贈	42613941
陶磁	14-Ha-203	ドイツ	マイセン 男女像	高さ13.1(男),高さ12.6(女)	19世紀	磁器	寄贈	42613942
陶磁	14-Ha-204	ドイツ	マイセン 女性像	高さ12.6 幅9.6 奥8.1	19世紀	磁器	寄贈	42613943
陶磁	14-Ha-205	ドイツ	マイセン 女性像	高さ12.3 幅7.2 奥7.6	19世紀	磁器	寄贈	42613944
漆工	14-Hb-50	日本	近江八景図時絵六角重	高さ5.3 長径8.8	近代	木胎漆塗	寄贈	42613945
漆工	14-Hb-51	日本	双鶴図時絵印籠	高さ9.7 幅4.7	近代	木胎漆塗	寄贈	42614256
染織	14-Hd-330	西澤株式会社(デザイン)	正十字文様カンガ	緯108.0 経149.0	1950-70年代	木綿・機械捺染	寄贈	42613947
染織	14-Hd-331	日本製	テリア・ルマル文様カンガ	緯107.0 経151.0	1950-70年代か	レーヨン(スフ) ・機械捺染	寄贈	42613948
染織	14-Hd-332	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	植物文様ワックスプリントハンガー見本	116.4×45.9	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613949
染織	14-Hd-333	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	象文様ワックスプリントハンガー見本	118.9×46.0	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613950
染織	14-Hd-334	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	蜀江文様ワックスプリントハンガー見本	120.5×46.2	1992年	木綿・機械捺染	寄贈	42613951
染織	14-Hd-335	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	縄目車文様ワックスプリントハンガー見本	122.2×45.3	1992年	木綿・機械捺染	寄贈	42613952
染織	14-Hd-336	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	縄目車文様ワックスプリントハンガー見本	121.5×46.9	1992年	木綿・機械捺染	寄贈	42613953
染織	14-Hd-337	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	鶴文様ワックスプリントハンガー見本	116.2×46.0	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613954
染織	14-Hd-338	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	花唐草文様ワックスプリントハンガー見本	117.8×46.5	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613955
染織	14-Hd-339	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	植物文様ワックスプリントハンガー見本	116.1×45.8	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613956
染織	14-Hd-340	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	蝶文様ワックスプリントハンガー見本	121.4×46.7	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613957
染織	14-Hd-341	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	蝶羊歯文様ワックスプリントハンガー見本	117.6×46.1	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613958
染織	14-Hd-342	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	竹文様ワックスプリントハンガー見本	117.1×46.1	1992-93年	木綿・機械捺染	寄贈	42613959
染織	14-Hd-343	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	亀甲文様ワックスプリントハンガー見本	119.6×48.5	1993年	木綿・機械捺染	寄贈	42613960
染織	14-Hd-344	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	扇文様ワックスプリントハンガー見本	119.6×47.7	1993年	木綿・機械捺染	寄贈	42613961
染織	14-Hd-345	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	チェス文様ワックスプリントハンガー見本	121.0×49.0	1993年	木綿・機械捺染	寄贈	42613962
染織	14-Hd-346	西澤株式会社 (デザイン)、 山陽染工株式会社 (製造)	幾何学文様ワックスプリントハンガー見本	120.5×48.0	1992年	木綿・機械捺染	寄贈	42613963
染織	14-Hd-347	ケニア製か	キストゥ	緯114.8 経152.9	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613964
染織	14-Hd-348	リバテックス・ イースト・アフリカ社 (製造)、 リバテックス社 (デザイン)	チュールリップ文様カンガ	緯113.8 経151.2	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613965
染織	14-Hd-349	タンザニア製	タンザニア独立50周年記念カンガ	緯107.0 経153.5	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613966
染織	14-Hd-350	ケニア製か	ケニア国旗文様カンガ	緯116.4 経161.5	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613967
染織	14-Hd-351	マリ・ヤ・ フランス (製造・デザイン)	花文様カンガ	緯113.2 経164.7	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613968
染織	14-Hd-352	マリ・ヤ・ フランス (製造・デザイン)	果実文様カンガ	緯110.8 経162.7	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613969
染織	14-Hd-353	マリ・ヤ・ フランス (製造・デザイン)	蓼文様カンガ	緯118.5 経157.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613970

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	時代	品質	収集法	備品受入番号
染織	14-Hd-354	ケニア製か	マンゴー文様カンガ	緯112.5 経151.2	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613971
染織	14-Hd-355	アフリテックス社 (タンザニア製)	コロシヨ文様カンガ	緯107.2 経141.0	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613972
染織	14-Hd-356	マリ・ヤ・ アブダラ (製造・デザイン)	コロシヨ地文様カンガ	緯114.3 経157.9	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613973
染織	14-Hd-357	タンザニア製	バラク・オバマ就任記念カンガ	緯107.4 経149.5	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613974
染織	14-Hd-358	アフリカ製か	レン文様キテンゲ	緯105.3 経181.5	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613975
染織	14-Hd-359	フリスコ社	鶏文様ワックス H628(VL003574)	121.0×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613976
染織	14-Hd-360	フリスコ社	扇風機文様ワックス 6/8759(VL007198)	121.5×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613977
染織	14-Hd-361	フリスコ社	花唐草文様ワックス 14/0564(VL032586)	120.5×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613978
染織	14-Hd-362	フリスコ社	バギソレ文様ワックス 14/0006(VL042045)	121.0×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613979
染織	14-Hd-363	フリスコ社	ステップダイヤモンド文様ワックス A1441(VL047939)	121.3×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613980
染織	14-Hd-364	フリスコ社	蜀江文様ワックス 14/0014(VL049221)	120.8×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613981
染織	14-Hd-365	フリスコ社	生命樹文様ワックス A1740(VL050176)	121.0×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613982
染織	14-Hd-366	フリスコ社	幾何学文様ワックス A1856(VL060360)	119.8×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613983
染織	14-Hd-367	フリスコ社	壺文様ワックス A1860(VL060388)	120.8×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613984
染織	14-Hd-368	フリスコ社	花総柄ジャワ 5233R(VL060825)	121.1×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613985
染織	14-Hd-369	フリスコ社	幾何学文様ワックス A1361(VL048154)	120.2×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613986
染織	14-Hd-370	フリスコ社	マサラ模様ジャワ 1360R(VL030673)	123.4×548.6	2014年以前	木綿・機械捺染	寄贈	42613987
資料	研究資料	西インド製か	インド更紗用版木	幅12.5 奥行8.5 高6.5	1970年代	木	寄贈	42613988

図書・映像資料

図書関係受入状況

単位(冊)

		和書	洋書
購入	図書	16	10
	図録	0	9
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	133	22
	図録	482	24
	年報・紀要	311	0
製本資料		0	0
雑誌		349	84
合計		1,291	149
総計		1,440	

映像資料関係受入状況

単位(点)

	購入	寄贈
ビデオ	0	0
レーザーディスク	0	0
コンパクトディスク	0	0
DVD	0	4
合計	4	

修復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	法量 (cm)	制作年	素材・技法	数量
油彩	1-A-500	藤森 静雄	自画像	60.5×45.8	1915	油彩・画布	1点
油彩	1-A-650	寺田 健一郎	核	45.5×38.0	1959	油彩・画布	1点
油彩	3-A-4	ジャン・フォートリエ	直方体	60.0×92.2	1959	油彩・画布	1点
版画	3-E-185	クリスト	コリドー・ストア・フロント	70.5×55.5×2.1	1966-1967	シルクスクリーン、 オフセット・紙、木、 プレクシガラス	1点

古美術

種別	所蔵品番号	産地 (作者)	作品名	法量 (cm)	制作年	品質	数量
染織	14-Hd-304	インドネシア	つぎはぎ文様更紗	経155.0 緯90.0 (ピース部を除く)	19世紀	木綿	1点
染織	14-Hd-307	インド	花唐草文様更紗	経335.5 緯109.9	17世紀	木綿	1点
陶磁	22-Ha-1		コブウシ文壺	高さ24.7 最大径27.2	インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-10		コブウシ文壺	高さ18.4 最大径10.2	インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-39		幾何学文壺		先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-56		幾何学文壺		先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-73		幾何学文壺	高さ9.0 最大径16.0	先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-75		壺		インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-77		ビーパール文鉢	高さ8.5 最大径15.6	先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-78		魚文鉢	高さ8.0 最大径10.1	先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-90		幾何学文鉢		先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-123		幾何学文鉢		先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-124		ビーパール文鉢	高さ7.5 最大径4.3	先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-136		幾何学文鉢		先インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-150		幾何学文鉢	高さ3.3 最大径8.5	インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-Ha-151		鉢	高さ4.7 最大径13.8	インダス文明期	土器	1点
陶磁	22-G-3	ガンダーラ地方	ブッダ立像	高さ36.2 最大径15.0	3-5世紀	ストウッコ	1点
彫刻	5-G-8-5	日本	十二神将立像 波夷羅大将・辰神 (重要文化財)	像高101.9	南北朝時代	木造 (桧材)	1点

貸 出

近現代美術

※■のフィールドは平成25年度より貸出開始している展覧会の平成26年度開催分

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	サルバドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	「LOVE STORY ～ダリ 5つの愛の物語～」	公益財団法人 諸橋近代美術館	平成26年4月20日～6月29日
彫刻等	高村 光雲	鍾軌大臣像	2-G-17	「東京・ソウル・台北・長春 ―官展にみる近代美術」	府中市美術館 兵庫県立美術館	平成26年5月14日～6月8日 平成26年6月14日～7月21日
日本画等	上村 松篁	竹鶴	2-B-28	「上村松篁展」	京都国立近代美術館 富山県水墨美術館	平成26年5月27日～7月6日 平成26年7月11日～8月11日
油彩等	田辺 至	ヴェスヴィオ遠望	1-A-26	光風会100回展記念 「洋画家たちの青春 ―白馬会から光風会へ」	松坂屋美術館	平成26年6月14日～7月6日
油彩等	中村 研一	秋花	1-A-122			
日本画等	麻田 鷹司	宗像杜沖島	2-B-9	「挑戦する日本画: 1950～70年代の 画家たち」	名古屋市美術館	平成26年7月5日～8月24日
彫刻等	アンゼラム・キファー	メランコリア	3-G-37	「札幌国際芸術祭2014」	北海道立近代美術館	平成26年7月19日～9月28日
油彩等	三岸 好太郎	海と射光	2-A-40	熊本近代美術 グラフィティ 「善三先生の先生たち」	坂本善三美術館	平成26年9月12日～11月24日
油彩等	織田 廣喜	黒装	1-A-172	「織田廣喜生誕100周年 記念展」	嘉麻市立 織田廣喜美術館	平成26年9月13日～10月19日
油彩等	安井 曾太郎	孟宗薮	7-A-49	「安井曾太郎の世界 ―人物画を中心に―」	ふくやま美術館	平成26年9月20日～11月16日
油彩等		初春	7-A-50		佐倉市立美術館	平成26年11月22日～12月25日
油彩等	海老原 喜之助	傷身	1-A-30	「生誕110年 海老原喜之助展」	鹿児島市美術館	平成26年10月2日～11月9日
油彩等		聖者の楽日	1-A-31		下関市立美術館	平成26年11月15日～12月28日
油彩等		花ぬす人	1-A-257		横須賀美術館	平成26年2月7日～4月5日
油彩等		白い鳥・黒い鳥	1-A-289			
油彩等		走馬燈	1-A-349			
素描	赤瀬川 原平	千円札(風倉匠の肖像)	2-D-1520	「赤瀬川原平の 芸術原論展 ―1960年代から現代まで」	千葉市美術館	平成26年10月28日～12月23日
写真	小林 正徳	集団ポートレート(檻)	1-F-544		大分市美術館	平成27年1月7日～2月22日
写真	石黒 健治	赤瀬川原平作品 「ヴァギナのシーツ」を着る風倉	2-F-358		広島市現代美術館	平成27年3月21日～5月31日
写真	東松 照明	パフォーマンス(ネオ・ダダ)赤瀬川原平	2-F-388			
油彩等	藤森 静雄	(自画像)	1-A-500	「月映」	宇都宮美術館	平成26年11月16日～12月28日
版画		自然と人生(「月映」I 所収)	1-E-356		和歌山県立近代美術館	平成27年1月17日～3月1日
版画		夜(「月映」I 所収)	1-E-357		愛知県美術館	平成27年4月17日～5月31日
版画		あゆめるもの(「月映」I 所収)	1-E-358		東京ステーションギャラリー	平成27年9月19日～11月3日
版画		心のながれ(「月映」I 所収)	1-E-359			
版画		人類(「月映」I 所収)	1-E-360			
版画		亡びゆく肉(「月映」IV 所収)	1-E-366			
版画		枝をはなれし一つの果(「月映」IV 所収)	1-E-367			
版画		聖なる夜(「月映」IV 所収)	1-E-368			
版画		墓穴を掘る人々(「月映」IV 所収)	1-E-369			
版画		妹の葬らるべき日(「月映」IV 所収)	1-E-370			
版画		へだてられたもの(「月映」IV 所収)	1-E-371			
版画		悲しきねがひ(「月映」IV 所収)	1-E-372			
版画		五月	1-E-778			
その他		第一号 金蓮花のつゆ(日記)	1-K-409			
その他		第貳号 梅の一輪(日記)	1-K-410			
その他		第四月号 汽笛の響き(日記)	1-K-411			
水彩等		題不詳(庭の木)	19-C-6			
素描		題不詳	19-D-1			
素描		題不詳	19-D-2			
素描		題不詳(裸婦)	19-D-3			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
版画	藤森 静雄	題不詳	19-E-200	『月映』		
版画		題不詳	19-E-201			
版画		夜のピアノ	19-E-205			
版画	恩地 孝四郎	伴病めり(抒情Ⅳ、「月映」Ⅰ所収)	2-E-223			
版画		抒情Ⅰ(「月映」Ⅰ所収)	2-E-224			
版画		抒情Ⅲ(「月映」Ⅰ所収)	2-E-225			
版画		ただよへるもの(「月映」Ⅰ所収)	2-E-226			
版画		夏日小景(「月映」Ⅰ所収)	2-E-227			
版画		泪してあふぐ日(「月映」Ⅳ所収)	2-E-233			
版画		おさむるものと地の哀傷(「月映」Ⅳ所収)	2-E-234			
版画		とぶもの・つけるもの(「月映」Ⅳ所収)	2-E-235			
版画		のこるこころ(「月映」Ⅳ所収)	2-E-236			
版画		そらよりくだるかげ(「月映」Ⅳ所収)	2-E-237			
版画		EX・LIBRIS 死によりて	19-E-250			
版画		あげらるる生(「月映」Ⅳ扉)				
版画	田中 恭吉	病める夕(「月映」Ⅰ所収)	2-E-249			
版画		太陽と花(「月映」Ⅰ所収)	2-E-250			
版画		埋葬(「月映」Ⅳ所収)	2-E-253			
素描	木下 晋	シロ	16-D-24	「鉛筆のチカラ ー木下晋・吉村芳生」	熊本市現代美術館	平成26年12月6日 ～平成27年2月8日
素描		職人A	16-D-27			
素描		祖母	16-D-28			
素描		静かな慟哭	16-D-33			
素描		102年の闘争	16-D-34			
素描		懊悩	16-D-35			
素描		105年の想い	16-D-37			
素描		105年の孤独	16-D-38			
素描		在りし日の想い	16-D-39			
素描		自画像	16-D-41			
油彩等	野見山 暁治	人間	1-A-486	「金山康喜のバリ ー1950年代の日本人画家たち」	神奈川県立近代美術館 葉山	平成27年1月24日～3月22日
油彩等		まつり	2-A-31			
油彩等	吉田 博	溪流	1-A-218	「吉田博・吉田ふじを展 ー世界を旅した夫婦画家」	一宮市三岸節子美術館	平成27年1月31日～3月15日
油彩等		チューリンガムの黄昏	1-A-513			
水彩等		村の橋	1-C-144			
水彩等		汐干狩り	1-C-145			
水彩等		日光	1-C-193			
水彩等		霧の農家	1-C-195			
版画		日本アルプス十二題 剣山の朝	1-E-53			
版画		帆船 朝(瀬戸内海集)	1-E-64			
版画		東京拾二題 亀井戸	1-E-87			
版画		雲井桜	1-E-101			
版画		蜀葵	1-E-110			
版画		溪流	1-E-140			
版画		瀬戸内海 集(2) 潮待ち	1-E-166			
版画		アムリッサー(アムリトサル)	1-E-174			
版画		タジ・マハルの朝霧 第五	1-E-200			
版画		陽明門	1-E-242			
水彩等	吉田 ふじを	庭の女	1-C-196			
水彩等		富士山麓を往く旅人	1-C-224			
水彩等		ベニス	1-C-228			
水彩等		〔窓辺の花〕	1-C-229			
水彩等		埃及みやげ	1-C-230			
水彩等		カトレア	1-C-231			
油彩等	古川 吉重	L-42	1-A-266	「古川吉重 1921-2008」	福岡県立美術館	平成27年2月7日～3月15日
油彩等		無題	1-A-394			
油彩等		無題	1-A-395			
油彩等		L18-1	1-A-487			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	野口 弥太郎	パリの眺め	1-A-149	「野口彌太郎大回顧展」	諫早市美術・歴史館	平成27年3月1日～5月6日
版画	ロベール・ドローネー	塔	3-E-29	「空飛ぶ美術館」	三重県立美術館	平成27年3月7日～5月6日
版画		空中からの塔のながめ	3-E-33			
版画		パリの橋とノートルダム寺院	3-E-34			
版画		エトワール広場	3-E-35			
版画	アンリ・マティス	ジャズ8 イカルス	3-E-365			

古美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	(長谷川派、春屋宗園賛)	如水居士像	4-B-43	2014年 NHK大河ドラマ特別展 「軍師官兵衛」	兵庫県立歴史博物館 江戸東京博物館 福岡市博物館	平成26年 3月21日～ 5月 6日
陶磁		唐物茶壺 銘「蓮華王」	4-Ha-4			平成26年 5月27日～ 7月13日
漆工重文		波螺鈿鞍 鐙付	4-Hb-197			平成26年 7月26日～ 9月21日
金工		芦屋釜	4-Hc-18			
染織		軍旗(永楽通宝)	4-Hd-185			
其他		琵琶 銘「青山」	4-Hf-20			
其他		白熊采配および柄	4-Hf-167			
其他		梵字采配	4-Hf-169-2			
其他		法螺貝(北条白貝)	4-Hf-172			
漆工		羊齒枇杷文蒔絵箱(琵琶「青山」箱)	4-Hb-20-2			
漆工		梨子地三葉葵紋戔金鞍・鐙	4-Hb-164			
書跡重美	(細川藤孝)	六家抄	4-I-32			
書跡重美		新古今集聞書	4-I-33			
書跡		春夢草	4-I-49			
絵画		春日社寺曼荼羅	6-B-14	「華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 —京都・陽明文庫展」	九州国立博物館	平成26年 4月15日～ 6月 8日
彫刻重文		銅造菩薩半跏思惟像	6-G-1	「法隆寺展—聖徳太子と 平和への祈り—」	福岡市美術館 静岡市美術館 岡崎市美術博物館	平成26年 4月19日～ 6月 1日 平成26年 6月14日～ 7月27日 平成26年 8月 9日～ 9月21日
陶磁		茂山御本茶碗	14-Ha-148	「大名茶の時代 薩摩と九州山口の茶陶」	薩摩伝承館	平成26年 6月28日～ 8月31日
陶磁		粉青沙器印花連珠文鉢	14-Ha-22			
陶磁		薩摩肩衝茶入 銘九重	4-Ha-11			
陶磁		薩摩黒褐袖肩衝茶入	14-Ha-109			
陶磁		薩摩火計手茶碗	14-Ha-45			
陶磁		高取耳付茶入(「二」字窯印)	14-Ha-120			
陶磁		高取耳付茶入	14-Ha-48			
陶磁		高取半筒茶碗	14-Ha-82			
陶磁		高取結文向付	14-Ha-141			
陶磁		上野焼締矢筈口水指	14-Ha-128			
陶磁		八代三島手筒茶碗	14-Ha-122			
彫刻		風神像	6-G-7	「海を越えた再会 リーブランド美術館 の仲間たち」	九州国立博物館	平成26年 7月15日～ 8月24日
陶磁		高取透文手付台鉢	14-Ha-138	「古田織部四〇〇年忌 大織部展」	岐阜県 現代陶芸美術館	平成26年 9月 6日～10月26日
絵画	(伝・胡直夫筆 偃谿広聞賛)	布袋図	6-B-3	「東山御物の美 —足利将軍家の至宝—」	三井記念美術館	平成26年10月 4日～11月24日
金工		王字形水瓶	6-Hc-6	「岐阜が生んだ原三溪と 日本美術—守り、支え、伝える」	岐阜市歴史博物館	平成26年10月10日～11月16日
陶磁		柿蒂茶碗 銘「白雨」	6-Ha-58			
彫刻重文		薬師如来立像	5-G-1	「九州仏—1300年の祈りとかたち—」	福岡市博物館	平成26年10月12日～11月30日
染織		藍地小花文様更紗	14-Hd-13-2	「とととと? きおく×キロク= 」	福岡県立美術館	平成26年10月 4日～11月24日
染織		赤地ブータ文様更紗	14-Hd-14-2			
染織		白地芥子文様更紗	14-Hd-14-4			
染織		白地小花文様更紗	14-Hd-14-5			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
金工		金銀鍍透彫華籠	6-Hc-7	「メタルズ! -変容する金属の美-」	北九州市立自然史・歴史博物館 新潟市新津美術館	平成26年11月 1日～12月23日 平成27年 1月24日～ 3月 8日
絵画重美	(宮本武蔵)	布袋見闘鶏図	6-B-29	「動物絵画の250年」	府中市美術館	平成27年 3月 7日～ 5月 6日
絵画	(狩野常信)	瑞亀図	4-B-16			
絵画	(狩野洞雲)	唐松白鹿図	7-B-84			
絵画	(仙厓義梵)	南泉斬猫図	9-B-48			
陶磁		瀬戸肩衝茶入 銘夏山	4-Ha-6	「九州山口の茶文化展」	表千家九州茶道館及び 太宰府天満宮文書館	平成27年 3月 7日、8日
絵画	(子庭)	石菖図	6-B-4			
金工		芦屋釜	4-Hc-18			

展示室

※観覧料の記載のないものは無料
※濃い色の日付は休館日

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	③	④	⑤
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A	第81回独立展 油彩画 約140点																					法隆寺展 一聖徳太子と平和への祈りー 観覧料 一 般 1,300円 高大生 800円 小中生 500円														
特別展示室 B								第15回日本水彩 久留米支部展 水彩画、アクリル画等 約50点 観覧者数：963人							福井書塾発表会 “これから” 書作品 約60点 観覧者数：641人							福岡読売写真クラブ 第6回写真展 写真 約90点 観覧者数：1,054人							昭和23年～平成23年 小谷修一画歴遺作展 油絵 約33点 観覧者数：2,180人							
市民 ギャラリー A	NHK文化センター 楽しい水彩画教室展 水彩画 約30点 観覧者数：729人							第13回新作能面展 能面 約40点 観覧者数：953人							フォト百道浜写真展 写真 約50点 観覧者数：825人							押花作品展 押花作品 約50点 観覧者数：749人							麗しき人々の肖像 荒尾史子展 油絵 約45点 観覧者数：636人							
市民 ギャラリー B	高山の花 (日本高山植物の花) 写真 約40点 観覧者数：938人							アートスタジオ・アライブ 鉛筆画教室作品展 鉛筆画 約120点 観覧者数：1,577人							ならさき水彩画教室展 透明水彩画 約80点 観覧者数：1,077人							博美会油絵展 油絵 約40点 観覧者数：745人							ものくろ会写真展 写真 約30点 観覧者数：814人							
市民 ギャラリー C	第5回書道香環会フォーラムイン 博多グループ展 書作品 約60点 観覧者数：615人							朝日カルチャーセンター福岡教室 カメラ初級・中級受講生 第1回 作品展 写真 約50点 観覧者数：1,283人							早良区・西区公民館 水墨画サークル合同作品展 水墨画 約45点 観覧者数：658人							第40回龍飛書展 書作品 約40点 観覧者数：609人							甲斐順一写真展 「雲の情景」 写真 約50点 観覧者数：988人							
市民 ギャラリー D	九州篆刻協会作品展 篆刻作品 約45点 観覧者数：624人							グループももの樹作品展 水彩画 約70点 観覧者数：1,280人							坂元桂介木版画展 木版画 約20点 観覧者数：474人							和田木彫教室 木彫生徒作品展 木彫刻 約200点 観覧者数：1,166人							ももちパレス 洋画 エル サバド 油絵 約35点 観覧者数：846人							

5月

室名	日	1	2	③	④	⑤	⑥	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4				
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
特別展示室 A	法隆寺展 一聖徳太子と平和への祈りー 観覧料 一般 1,300円 高大生 800円 小中生 500円																																							
特別展示室 B	小谷修一遺作展 画歴 昭和23年(1948)～ 平成23年(2011) 油絵 約33点								その気になって 「創造保育の子どもたち」 島崎充写真集から モノクロ写真 約80点 観覧者数：698人				阿部絵画教室 彩友会 油彩画 約120点 観覧者数：1,362人				第2回CAF展 油絵、アクリル画等 約50点 観覧者数：1,571人				野田勲回顧展 油絵 約30点 観覧者数：2,363人				「華フオー」展															
市民 ギャラリー A	麗しき人々の肖像 荒尾史子展 油絵 約45点								チョークアート グループ展 vol.3 チョークアート作品 約50点 観覧者数：946人				喜寿水墨画展 水墨画、墨彩画 約50点 観覧者数：698人				第18回新作能面展 能面 約60点 観覧者数：804人				高瀬竜二展 油彩画 約30点 観覧者数：1,117人				仏像と土造形展															
市民 ギャラリー B	ものくろ会写真展 モノクロ写真 約30点								キルトサークルYouの遊 パッチワーク作品展 キルト作品 約40点 観覧者数：756人				どんぐりの会水彩画展 水彩画、パステル画等 約60点 観覧者数：628人				第9回 「昭和フォトサークル」 作品展 写真 約50点 観覧者数：662人				日本透明水彩会福岡展 透明水彩画 約100点 観覧者数：1,155人				第18回草門 書道会展															
市民 ギャラリー C	甲斐順一写真展 「雲の情景」 写真 約50点								オンラインバススイークラブ 第3回写真展 写真(光とフリー) 約50点 観覧者数：809人				第3回工房ひとつぶの空 キルトワーク・ガラス教室作品展 ガラスのオブジェ等 約300点 観覧者数：702人				周彩会・彩舟会OB展 油絵 約60点 観覧者数：993人				さわれる! 二代 川喜田半泥子の焼物 観覧者数：727人				第8回暗華会 書道展															
市民 ギャラリー D	ももちパレス 洋画 エル サバド 油絵 約35点								第12回あとりえ展 福岡工業大学 エクステンションセンター 油彩画、水彩画等 約50点 観覧者数：661人				晨彩会展 日本画 約40点 観覧者数：852人				西日本書道学会展 書作品 約80点 観覧者数：992人				第32回九友会絵画展 日本画、水彩画、油彩画等 約70点 観覧者数：1,251人				第6回裕竹会 書展															

6月

室名	日 曜	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	7/1 火	2 水	3 木	4 金	5 土			
特別展示室 A	法隆寺展									第110回太平洋展 第49回西日本展 油彩画、水彩画、版画、染織等 約220点 観覧料 一 般 800円 高大生 600円 観覧者数：3,945人																第45回 日 展 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約470点 観覧料 一 般 1,200円 高大生 700円 観覧者数：19,581人													
特別展示室 B	野田勲回顧展	「華フォー」展 水彩画、油彩画 約30点 観覧者数：425人																																					
市民 ギャラリー A	高瀬竜一展	仏像と土造形個展 木彫仏像、粘土作品 約90点 観覧者数：715人								近藤えみ絵画教室展 水彩画、油絵、アクリル画等 約80点 観覧者数：961人																													
市民 ギャラリー B	日本透明水彩会 福岡展	第18回草門書道会展 書作品 約50点 観覧者数：593人								広告写真家集団 「セキサバ倶楽部」写真展 写真 約150点 観覧者数：864人																													
市民 ギャラリー C	半次子の館物 一代川喜田	第8回皓華会書道展 書作品 約65点 観覧者数：596人								突展 2014 福岡教育大学美術科OB有志展 油彩画、水彩画、彫刻等 約50点 観覧者数：846人																													
市民 ギャラリー D	九友会絵画展 第35回	第6回裕竹会書展 書作品 約60点 観覧者数：461人								染・伸樹会展 染色工芸作品 約60点 観覧者数：830人																													

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	㉑	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A	第45回 日 展 																																			

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4					
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
特別展示室 A	第73回 創元展 同時開催 創元会 西日本美術展				第28回 日洋展九州会場福岡 絵画 約140点 観覧料 一般800円 高大生400円 観覧者数：1,691人							第38回 毎日女流書展 書作品 約500点 観覧者数：1,276人							第67回示現会展 第3回示現会福岡支部 公募展 油絵、水彩画等 約160点							大河ドラマ 軍師官兵衛記念 黒田家の 美術															
特別展示室 B	観覧料 一般 800円 (学生以下無料)				第34回 グループ青彫刻展 彫刻 約50点 観覧者数：485人							田中秀幸個展 油絵、テンペラ等 約70点 観覧者数：947人							観覧料(特別展示室Aのみ) 一 般 700円 高大生 400円 観覧者数：5,927人							元田典利 パフォーマンステーション展 インスレーション 約300点 観覧者数：258人					直観の ジオフォルマ										
市民 ギャラリー A	ポアチャ会 展覧会				Kei 展覧会 絵画、オブジェ 約10点 観覧者数：570人							大濤・舞鶴公園の自然と ハクチョウのアイちゃん メモリアル 写真、水彩画 約100点 観覧者数：962人							第15回 木曜會作品展 写真 約50点 観覧者数：904人							現代の友禅二人展 友禅作品 約30点 観覧者数：509人															
市民 ギャラリー B	第8回 82AP展				第19回福岡写実会写真展 「山を想うひととき」 写真 約50点 観覧者数：802人							creator EarthH展 油絵、立体等 約20点 観覧者数：522人							墨and彩 お遊び展 書、水彩画、立体等 約100点 観覧者数：605人							花と光のフェスティバル 「押花で描く雅の世界」 作品展 押花、ガラスアート等 約250点											第88回 チャール会 博多絵画展				
市民 ギャラリー C	第4回 彫刻展 自然と彫刻が 好きな人たち				第18回 さくら会水彩画展 透明水彩画 約70点 観覧者数：728人							第54回 西日本フォトコンテスト 写真 約120点 観覧者数：978人							第31回観生会展 書作品 約40点 観覧者数：561人							観覧者数：1,063人															
市民 ギャラリー D	第3回 野口正幸 合同生徒 作品展				第30回紫彩展 油絵、水彩画、オブジェ等 約30点 観覧者数：638人							第42回福岡県人書作展 書作品 約25点 観覧者数：489人							グループ テオ展 油絵、水彩画、版画等 約60点 観覧者数：807人							七曜舎ヌードデッサン展 鉛筆画、ペン画等 約70点 観覧者数：651人											福岡女学院大学 生涯学習センター 写真講座受講生 第二回写真展 「九州の風」				

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	㊸	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5				
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
特別展示室 A	大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 観覧料 一 般 1,000円 高大生 700円																																							
特別展示室 B			“直観”のジオラマ ～九州・沖縄アーティストファイル断章～ 絵画、写真、彫刻、映像、インスタレーション等 観覧者数：3,674人																																					
市民 ギャラリー A	西日本写真協会博多支部 「金曜会」第12回作品展 写真 約40点 観覧者数：862人							第4回火の会作品展 油絵、水彩画等 約40点 観覧者数：1,244人							日本画「翔の会」 作品発表 日本画 約12点 観覧者数：626人							にしむら やすし 木彫刻展 木彫刻 約9点 観覧者数：773人							尾崎加代個展 アクリル画 約20点 観覧者数：288人											
市民 ギャラリー B	第88回 チャーチル会博多絵画展 油絵、水彩画 約45点 観覧者数：892人							第37回西日本版画協会展 版画 約60点 観覧者数：1,132人							手描き染め生徒作品発表 と錦見米子日本画個展 手描き染め作品、日本画 約110点 観覧者数：576人							グループ・シェイク展 絵画、彫刻、写真、工芸等 約100点 観覧者数：644人							P・C・F写真展 写真 約50点 観覧者数：568人											
市民 ギャラリー C	第8回 はがき絵加呂教室作品展 はがき絵作品 約80点 観覧者数：765人							第44回青像グループ写真展 写真 約50点 観覧者数：680人							グループKANN展 アクリル水彩画 約40点 観覧者数：531人							第15回ラ・ビダ、イーゼール会 合同絵画展 油絵 約60点 観覧者数：669人							ボタニカルアート &創作絵本展 水彩画、アクリル画 約100点 観覧者数：602人											
市民 ギャラリー D	福岡女学院大学生涯学習センター 写真講座受講生第三回写真展 「九州の風」 写真 約50点 観覧者数：1,109人							彩の会水彩画展 透明水彩画 約80点 観覧者数：1,177人							第11回生展 写真 約80点 観覧者数：545人							第11回姚明中国 水墨画書道研究会展 水墨画、書 約100点 観覧者数：850人							第45回游展 油絵、水彩画 約60点 観覧者数：763人											

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	③	4
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室 A																																				
特別展示室 B																																				
市民ギャラリー A																																				
市民ギャラリー B																																				
市民ギャラリー C																																				
市民ギャラリー D																																				

11月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	2	3	4	5
	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
特別展示室 A																																				
特別展示室 B																																				
市民ギャラリー A																																				
市民ギャラリー B																																				
市民ギャラリー C																																				
市民ギャラリー D																																				

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	㉓	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室 A																																				
特別展示室 B																																				
市民ギャラリー A																																				
市民ギャラリー B																																				
市民ギャラリー C																																				
市民ギャラリー D																																				

1月

室名	日	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	⑫	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
特別展示室 A																																				
特別展示室 B																																				
市民ギャラリー A																																				
市民ギャラリー B																																				
市民ギャラリー C																																				
市民ギャラリー D																																				

2月

室名		日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3/1	2	3	4	5	6	7							
		曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土							
特別展示室 A	成田 亨 美術／特撮／怪獣 観覧料 一般1,200円 高大生800円																														第68回 二紀展 福岡巡回展 観覧料 一 般 700円 高大生 700円 (中学生以下無料) 観覧者数：3,378人					第82回 独立展 油彩画 約140点 観覧料 一 般 800円 高大生 600円 (中学生以下無料)								
特別展示室 B	龍手書道展 第28回	九州産業大学 芸術学部・芸術研究科 卒業制作秀作展								ファインアート展 水彩画、版画、書、陶器等 約1,000点 観覧者数：1,427人								第99回 二科展 絵画、写真、デザイン、彫刻 約600点 観覧料 一 般 800円 高大生 500円 (中学生以下無料) 観覧者数：4,716人																	SEIEN写真倶楽部 作品展 写真 50点 観覧者数：1,050人					第21回 福岡市 書道協会展 書作品 約260点				
市民 ギャラリー A	装の会展 第15回	洋画、日本画、彫刻等 約90点 観覧者数：2,180人																																										
市民 ギャラリー B	第28回龍手書道展	九州造形短期大学 第46回卒業制作展 絵画、彫刻、立体等 約300点								第64回 福岡市中学校美術展 絵画、彫刻、工芸、デザイン等 約4,000点 観覧者数：5,961人																																		
市民 ギャラリー C		観覧者数：1,327人																																										
市民 ギャラリー D	日本学生写真協会 九州支部写真展																																											

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	㉑	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
特別展示室 A	第68回 二紀展福岡巡回展	第82回 独立展 油彩画 約140点 観覧料 一 般 800円 高大生 600円 (中学生以下無料) 観覧者数：1,929人								第49回 福岡市美術展 (前期) 洋画、彫刻、工芸 福岡市美術展運営委員会 観覧料 一 般 400円 高大生 300円 (中学生以下無料) 観覧者数：2,125人								第49回 福岡市美術展 (後期) 日本画、書、写真、デザイン 福岡市美術展運営委員会 観覧料 一 般 400円 高大生 300円 (中学生以下無料) 観覧者数：2,945人								第46回 日展 (3/28～4/19) 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約450点 観覧料 一般1,200円 高大生700円 (中学生以下無料) 観覧者数：3,355人										
特別展示室 B																																				
市民ギャラリー A	SEIEN写真倶楽部作品展																																			
市民ギャラリー B	歩歩の会日本刺繍作品展																																			
市民ギャラリー C	土と筆と																																			
市民ギャラリー D	グループ季楽水彩画展																																			

講堂等

	講堂		教養講座室		版画工房室		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	3	359	16	334	3	8	22	701
5月	6	915	14	363	2	6	22	1,284
6月	8	970	13	419	1	2	22	1,391
7月	2	192	20	312	2	7	24	511
8月	6	138	14	290	2	7	22	435
9月	2	194	8	140	3	9	13	343
10月	2	145	14	289	3	9	19	443
11月	11	1,019	19	807	2	6	32	1,832
12月	7	498	17	413	5	12	29	923
1月	11	1,509	16	419	10	22	37	1,950
2月	9	636	15	335	9	17	33	988
3月	9	787	10	159	4	8	23	954
合計	76	7,362	176	4,280	46	113	298	11,755

※実技講座室は平成25年6月から貸出中止。

26年度月別観覧者数

月	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
4	26	4,678	1	4,790	25	19,641	26	29,109
5	27	11,915	0	18,144	20	22,666	20	52,725
6	25	4,815	0	1,294	11	18,022	11	24,131
7	27	4,092	0	0	16	26,573	16	30,665
8	27	6,095	0	0	21	25,583	21	31,678
9	25	6,015	1	10,210	21	16,990	22	33,215
10	27	4,526	1	3,043	14	13,718	15	21,287
11	26	7,054	0	5,329	10	10,549	10	22,932
12	23	2,789	0	0	15	17,888	15	20,677
1	23	4,138	1	6,664	15	17,042	16	27,844
2	24	4,861	0	5,020	10	23,069	10	32,950
3	26	4,312	0	0	4	13,474	4	17,786
累計	306	65,290	4	54,494	182	225,215	186	344,999

読書室利用者数一覧

小数点以下切捨

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	463	26	17	463	408,415
5	548	27	20	1,011	408,963
6	377	25	15	1,388	409,340
7	492	27	18	1,880	409,832
8	853	27	31	2,733	410,685
9	439	25	17	3,172	411,124
10	434	27	16	3,606	411,558
11	413	26	15	4,019	411,971
12	252	23	10	4,271	412,223
1	426	23	18	4,697	412,649
2	433	24	18	5,130	413,082
3	470	26	18	5,600	413,552
年総数	5,600	306	18		

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは平成26年度のもの
任期 平成26年7月1日から平成28年6月30日まで
(一部委員に変更あり)

会長	後藤 新治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	龍 秀美	詩人
学校教育関係者	樺島 穰	和白東小学校長
	田畑 弘行	元岡中学校長
	古川 彰	博多工業高等学校長
社会教育関係者	木内 潤子	福岡市社会教育委員
	坂田美和子	福岡市P T A協議会副会長
	藤本 昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
	渡邊 敬一	福岡市青少年団体連絡会議理事
学識経験者	植野かおり	立花家史料館長
	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院哲学部門教授
	宇多川宣人	アジア美術家連盟日本委員会代表
	榊 晃弘	福岡市美術展運営委員長
	友添 泰典	(公社)福岡県美術協合理事長
	原田 真紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
	深野 治	「西日本文化」編集長
	藤枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
	室岡 祐司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

収集審査員

50音順・敬称略・肩書きは平成26年度のもの

近現代美術	尾崎信一郎	鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長
	西村 勇晴	北九州市立美術館長
	古田 亮	東京芸術大学大学美術館准教授
古美術	大橋 康二	佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問
	菊竹 淳一	九州大学名誉教授
	原田あゆみ	九州国立博物館学芸部企画課特別展室主任研究員

職員

館長	錦織 亮介	美術館運営部長	中山喜一郎
副館長	甲木 辰利	学芸課長	
運営課長	古賀 有子	学芸係長	岩永 悦子
運営係長	木道 繁	主任学芸主事	山口 洋三
係員	山浦 操		鬼本佳代子
	福井 誠治	学芸員	後藤 恒
	白銀 哲也		正路佐知子
主査(広報・事業調整専任)	占部 有子		吉田 暁子
主査(美術館大規模改修担当)	山下 毅		神保 明香
嘱託員	鬼塚 弘道	嘱託員	渡抜 由季
			ギャレット三宅万里子
			中原千代子
			中務 美紀
			土橋佳那子

平成26年度
福岡市美術館活動の記録

編集・発行 **福岡市美術館**
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL : 092-714-6051

印刷 **株式会社マリックス**
発行年月日 2016年3月15日

©福岡市美術館 2016年

